

## 民間のイニシアティブを重視した地域振興方策に関する調査 第2回 検討委員会 議事概要

1. 日 時 平成 18 年 12 月 22 日（金）14:00～16:30

2. 場 所 米子商工会議所 大会議室

3. 出席委員（敬称略）

岡崎委員長、石村、鈴木、田口、平田、毎熊、村木、柳沢、渡部、細羽、松村、矢倉

4. 議事（概要）

- (1) 朝廣氏(NPO 法人なら燈花会の会前会長・観光カリスマ)によるプレゼンテーション
- (2) 第1回委員会指摘事項と対応方針について
- (3) 現場検証（パイロット事業）について
- (4) 事例検証について
- (5) その他

5. 主な発言内容

(1) 朝廣氏(NPO 法人なら燈花会の会前会長・観光カリスマ)によるプレゼンテーション

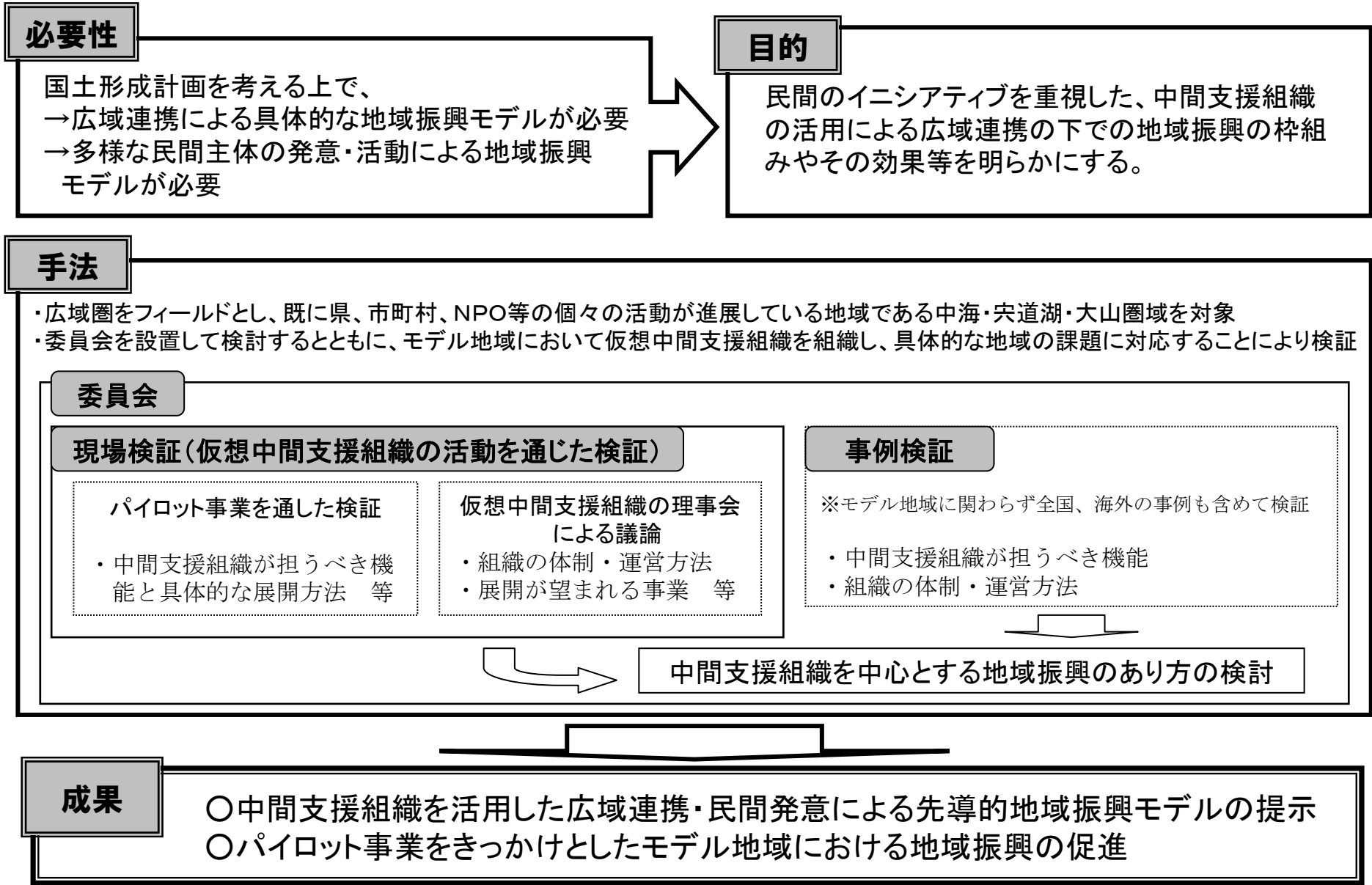
- ・ 地域らしさを活かした事業を検討し、展開することが必要である。
- ・ 事業にはインパクトが重要であり、多少無理してでも大掛かりに取り組むことが重要である。
- ・ 市民のホスピタリティを重視しながら、ボランティアと観光を兼ねる人を増やしたことなど市民サポーターの力が成功要因である。
- ・ 継続的な組織体制づくりが重要である。特に事務局長は常駐が望まれる。
- ・ 企業の協力を得るために、経済効果をデータで示したり、企業のトップにまつりをみてもらうことが必要である。
- ・ 周辺寺社や商店街に対しては、毎年、粘り強く協力依頼を交渉することが必要である。
- ・ 行政は、口出しせずに、徹底して陰の支援に回ってもらうことが重要である。
- ・ 活動資金について、補助金は少しずつ減らしている。企業の協賛や、グッズ販売等の自主財源により確保する必要があるほか、広く、薄く、協力金を得ることも考えている。
- ・ リーダーをサポートしてくれるメンバーがいることが重要である。

(2) ～ (4) について

- ・ 本調査には、国土審議会で議論している「新たな公」のための中間支援組織についての“実験”という部分と、本圏域で来年度以降への継続方法を検証して成果として残すという２つの目的があり、これらを整理して議論することが必要である。
- ・ 中間支援組織の機能は、市民、行政の間に入って連携を強化することが主であり、自主事業や政策提言機能は、参加意欲を高める工夫ではなく、自立的な運営のための手段と位置付けるべき。
- ・ 広域連携を促すことを中間支援組織に期待するのであれば、鳥取・島根の両県が協働できる事業を提案する役割が重要である。
- ・ 中間支援組織が担うべき機能のイメージと、パイロット事業の具体的な内容をつなぐ説明が必要である。
- ・ 中間支援組織の理事会は、テーマやミッションを明確にして、それにふさわしいメンバーを集める必要がある。
- ・ （中間支援組織の事務局は、）個人として係わってもらほうがよい。
- ・ 中間支援組織は、もっと時間をかけて、信頼関係を構築しながら立ち上げていくべき。

以 上

調査の目的と手法について（第1回委員会資料より）



本調査で検証すべき論点について （第1回委員会資料より）

■ 民間主体を中心とする多様な担い手による地域づくりを円滑に進めるために中間支援組織はどんな機能を有すべきか。

- ✓ 地域資源に関する情報や各主体の取組みなどの地域情報を発信したり、地域外における当該地域に対する印象や認識の共有を図るなど、中間支援組織は多様な主体による取組みの共通基盤となる情報機能を有すべきではないか。
- ✓ 担い手となる多様な主体間の相互の連携を図るため、人的ネットワークづくりを支援する必要があるのではないか。
- ✓ 上記の機能を発揮し、具体的取組みを展開するために多数の合意形成が必要と考えられるが、合意形成を円滑に進めるためのポイントは何か。
- ✓ 各主体がもつ地域づくりへのアイディア掘り起こしのためや担い手の確保のために、中間支援組織がとるべき具体的方法は何か。
- ✓ 各主体の取組みを発展させるため、地域外の人との人的ネットワークづくりも支援すべきではないか。そのための効果的な方法は何か。
- ✓ 特に、地縁型のコミュニティやNPOなどの住民組織は経営基盤が脆弱なことから活動資金など経済的な支援が必要ではないか。
- ✓ 企業や個人が地域振興に向けて寄付や人材の提供を行いたい場合に、各種活動団体の代表としてそれらの受け皿になることも必要ではないか。
- ✓ 各主体の取組みへの支援に加え、地域が抱える課題について、自発的に行政、経済団体等へ提案を行うなどの役割が必要でないか。
- ✓ いずれの活動団体も行わないような取組みが求められている場合、先駆的な取組みを主体的に行うことも求められるのではないか。
- ✓ 各主体の自立的な取り組みを促すためにどの時点まで中間支援組織として支援する必要があるのか。
- ✓ 以上のような論点の中で、「広域連携」による地域振興を図るために特に留意すべきポイントは何か。

■ 中間支援組織が効果を発揮するためには、どのような組織体系を有し、どのような意思決定方法を有すべきか。

- ✓ 中間支援組織は、多様な主体の利害調整を図る必要があることから、各主体の代表で構成される合議制の意思決定組織（理事会）を有すべきではないか。一方、このような理事会では多様な主体の利害が対立したときに迅速な意思決定ができないのではないか。これらのバランスをとるために、理事会に求められる役割は何か。
- ✓ 具体的に事業を推進していくためには、理事会のほか事務局が必要であり、そこで中間支援組織の活動を牽引するリーダーが必要ではないか。リーダーにはどんな役割が求められるか。
- ✓ 恒常的な活動を実施するためにはスタッフが必要ではないか。その際、常駐と非常駐、地域外の人材、各団体からの派遣、ボランティアスタッフなど、どのようなスタッフ構成が適切か。
- ✓ 以上のような論点の中で、「広域連携」による地域振興を図るために特に留意すべきポイントは何か。

■ 中間支援組織の取り組みを継続するためのポイントは何か。

- ✓ 継続的に活動するために安定した資金を確保する必要がある。行政からの補助金や企業・市民からの寄付などのほか、中間支援組織の自主事業として収益事業を展開する必要もあるのではないか。
- ✓ 上記のような活動資金を確保するために中間支援組織にはどのような工夫、調整が必要になるのか。
- ✓ 既存の団体（行政、経済団体等）との役割分担、パートナーシップ形成をどのように考えるか。
- ✓ 中間支援組織の中心的人物の後継者の育成方法、確保方法はいかにあるべきか。（リーダー等の個人的資質だけで支えられる属人的な体制の回避）
- ✓ 以上のような論点の中で、「広域連携」による地域振興を図るために特に留意すべきポイントは何か。

## 本圏域における多様な主体への資金支援に係る現状整理 (圏域の金融機関における資金支援制度の概要)

### 【山陰合同銀行】

#### ●ごうぎん文化振興財団(H4～)

山陰両県の「教育活動の充実」、「優れた文化芸術の創造」、「スポーツの振興」を奨励し、地域社会の発展に貢献することを目的に、両県それぞれに財団を設立(H4)して支援・協賛活動を実施。

《実績(H17)》

支援団体：文化・スポーツ等のサークル、各種演奏会・大会等実行委員会、地域コミュニティ、NPO法人、大学、行政外郭団体等

支援件数、支援額：65件助成、7～50万円／件、助成額計1,000万円

### 【鳥取銀行】

#### ●公益信託「とりぎん青い鳥基金」(H12～)

鳥取県内に住所を有し、かつ鳥取県内で芸術、文化、体育等の分野における社会教育活動を行う青少年団体、又は鳥取県の地域文化、芸術文化の振興に寄与する団体へ活動資金を助成する制度。1団体50万円以内、10団体まで(年間助成金総額300万円)。

《実績(H12下期～H18上期)》

支援団体：文化・スポーツ等のサークル、各種演奏会・大会等実行委員会、ボランティア団体、地域コミュニティ、NPO法人、行政外郭団体等

支援団体数、支援額：69団体、総額1,950万円

### 【島根銀行】

#### ●児童活動支援制度「しまぎん わんぱく応援団」(H7～)

山陰両県の小学生をメンバーとした団体で、積極的な活動を行っているものを対象とし、組織母体は、地域組織(自治会、町内会、商店会等の地域に属した子供組織)、民間組織(音楽、芸能等の目的を持ち、地域を越えた子供組織)、その他の組織(スポーツ関係団体や学校の活動は除く)。助成額は1団体につき10万円。年間、12団体を助成。年に1回、外部有識者等からなる選考委員会によって助成団体を決定。

《実績(H17)》

支援団体：文化・スポーツ等のサークル、地域コミュニティ、NPO法人等

支援団体数、支援額：12団体、総額120万円 ※H7から累計132団体

## 【米子信用金庫】

### ●地域活性化ファンド「チャレンジ21」(H18～)

設定金額は3億円。1回の融資限度額は500万円。何回でも利用可能で、期間は5年以内。年利2.75%。無担保、無保証。株式会社以外の有限会社、個人事業主、NPO法人等が社債並みの有利な条件（月々の返済を伴わない満期一括償還、借り入れより低金利等）で調達できる擬似私募債の手法を活用した制度。実業家・経済団体・行政等からなるビジネス評価委員会により選考。

《実績（H18）》

制度開始（H18.3）より個人事業主等からの相談が14件。その内4件をビジネス評価委員会で審議。内1件を採択し、5年間で500万円の融資を実施。他1件、事業の具体化が進む。

## 【島根中央信用金庫】

### ●NPO法人支援資金「元氣」(H18～)

NPO法人の運転資金及び設備資金を対象とした融資制度。

使途の別、担保の有無、収益事業の有無により融資条件は異なるが、融資金額は500万～3,000万円、融資期間は1～20年、金利は島根中央信用金庫の基準金利に準ずる。

《実績》

支援実績なし（H18.9末時点）

## 【中国労働金庫】

### ●NPO事業サポートローン

原則として法人格取得後3年以上活動しているNPO法人の行う特定非営利活動に係る事業に必要な運転資金および設備資金を対象とした融資制度。

使途の別、担保の有無により融資条件は異なるが、融資金額は500～3,000万円、融資期間は1～10年、金利は2.825～3.825%。（H18.10.1時点）

### ●NPO寄付システム（H17～）

NPO活動分野の中から預金者が希望の分野を選び、ろうきんの預金自動振替（月額100円から）により定期的に寄付を行うシステム。各県、分野ごとに集まった寄付金は、各県のNPO寄付システムを運営するNPO中間支援団体を通じて、配分審査委員会で選定された個別のNPO法人に直接交付。寄付金のうち20%を上限に、運営NPO中間支援団体へ配分されるため、県内のNPOを応援する中間支援団体の支援も併せて行うことが可能。配分額は1団体あたり5万円。各中間支援団体が設置する審査委員会により配分先を決定。

（1）鳥取県（運営NPO中間支援団体：とっとりNPOネットワーク）

配分対象分野（3分野）：「保健・医療・福祉」「文化・スポーツ」「子どもの健全育成」

※他の分野は寄付金額が一定額に達するまで据え置き。

配分実績：平成 18 年度に初めて配分を実施。現在配分を希望する団体を募集中。

(2) 島根県（運営 NPO 中間支援団体：しまね NPO 活動支援センター）

配分対象分野（4 分野）：「保健・医療・福祉」「まちづくり」「環境保全」

「子どもの健全育成」

※他の分野は寄付金額が一定額に達するまで据え置き。

配分実績：平成 18 年度に初めて配分を実施。現在配分を希望する団体を募集中。

#### ●NPO 立上げ助成金制度

NPO 法人として新たに当該年内に認証を受けた団体および翌年中に認証予定の団体を対象に審査・選考のうえ立上げ助成金を交付する制度。一団体あたりの上限 20 万円。中国 5 県での助成総額 300 万円以内。

《実績（H17）》※鳥取県、島根県のみ抜粋。

鳥取（4 団体）、島根（3 団体）。10～15 万円／団体。助成総額 80 万円

※各金融機関、山陰中央新報社、とっとり NPO ネットワーク、しまね NPO 活動支援センターのホームページ等より整理。

各パイロット事業に関する参考資料

(参考) 山陰観光・旅のポータルへの支援事業 (当該ホームページトップページに加筆)

目次

I-1~2 ポータルサイト・マップ事業

(1) 圏域一体性の確立に向けたコンテンツの共同作成支援)

(2) 圏域連携・効率化に向けた特派員によるコンテンツ供給のしくみづくり支援)

(3) 施設運営者による情報更新・共有システム構築の立ち上げ支援)

(4) 市民の相互交流と自動更新に向けた投稿システムの作成、(5)参加促進)

(6) 効率的で効果的な運営・作成に向けたあり方の検討と提案)

I-3 フリーペーパー事業

I-4 圏域外情報の収集・共有事業

II-1 講演会・交流会

II-2 インターネット相談事業

支援

支援

支援

自主

自主

自主

自主

■今月の特集  
投稿記事から選考して取材、記事として掲載

■今月の特集  
投稿記事から選考して取材、記事として掲載

■施設情報の更新  
各エリアの観光施設情報を掲載。

■最新イベント情報  
投稿された各エリアのイベント情報を掲載

■新着情報  
トピックス  
投稿された各エリアの新着情報を掲載

■特派員記事  
特派員が様々な分野について定期的にコラムを掲載

1

## I-1~2 ポータルサイト・マップ事業 (①圏域一体性の確立に向けたコンテンツの共同作成支援)

- 仮に「神秘性・ミステリアス」を共通テーマにしてとりあげ、新規コンテンツの共同作成を支援した。
  - ① 「神秘性・ミステリアス」に関心のある団体等に声をかけてワークショップを開催 (2/1)
  - ② ポータルサイトにて、一般市民向け「あなたが感じた山陰のミステリアススポット教えてください!!」アンケートを実施 (1/19~2/15)

### ■ ワークショップの記録 (平成 19 年 2 月 1 日 (木) 荒神谷博物館にて)

#### ○参加団体

境港観光協会、(特)出雲学研究所、(特)大山中海観光推進機構、(特)まちづくりビジネス支援ネットワーク、(特)松江・まちづくり塾

#### ○主な内容

- ・ 圏域の歴史・文化的な一体性に関する議論
- ・ 神秘・ミステリアスコンテンツのホームページ上での展開方法
- ・ 各エリアについて、具体的な神秘・ミステリアススポットの抽出

#### ○出された意見の一例

- ・ ただ神秘・ミステリアススポットを羅列するだけでなく、神話のストーリー (因幡の白兔など) と組み合わせて示したほうが良い。
- ・ 枕木山の華蔵寺は神秘的な場所でもあり、また中海や弓ヶ浜を一望できる絶景スポットである。



### ■ 新たに作成したコンテンツ (3月上旬正式公開予定)

HOME | ミステリアススポット > 加賀の潜戸・新潜戸(かかのくへど・しんくへど)

## ミステリアス山陰・おすすめスポット

加賀の潜戸・新潜戸(かかのくへど・しんくへど)

断崖絶壁の岩肌に作り出された2つの洞穴。神の誕生地と伝わり、鬼気迫る雰囲気に身震い。

◆ミステリアス総合評価 ★★★★★

|          |       |
|----------|-------|
| 神秘性      | ★★★★★ |
| 歴史性      | ★★★★★ |
| 畏怖性      | ★★★★★ |
| 癒し性      | ★★★★★ |
| アプローチ難易性 | ★★★★★ |

アプローチ難易度

癒し性

畏怖性

歴史性

神秘性

現在リストアップ  
ミステリアススポット

- 加賀の潜戸・新潜戸
- 金屋子神社
- 美保関灯台の横にある鳥居
- 水木しげるロード
- 鎧舞式神社
- 徳島公園
- もさばんだ遺跡
- 宍道湖の夕日
- 鬼の舌岩
- 赤松の池
- 加賀の潜戸・新潜戸
- 出雲大社・神在月
- 大山寺
- 水木しげるロード
- 鎧舞式神社
- 徳島公園
- もさばんだ遺跡
- 宍道湖の夕日
- 鬼の舌岩
- 赤松の池

他にもここというあればお知らせ下さい

◆ 広場フォーム

◆ REPORT

「潜戸」とは、もともと洞窟のこと。松江市の北部、加賀という地区にある洞門で、景勝地としても穴場スポットだ。とりわけ加賀の夕景は絶景として知られ、密やかなデートスポットともなっている。また、島根半島の潜戸島から続く断崖や入り江の海岸線は、大山隠岐国立公園に指定されるほど。

旧潜戸・新潜戸は通称で、古くに旧潜戸は「仏潜戸」、新潜戸は「神潜戸」と呼ばれていた。この呼び名からして、すでに神秘的な匂いがする。近くまで進歩道も整備されているが、旧潜戸と新潜戸の両方を巡る観光船をぜひお薦めしたい。

新潜戸こと「神潜戸」は東・西・北と3つの入口が、はっきりと開いた広い洞穴なので観光船を乗り入れて探検できる。長年の海食によって削り上げられた自然美は壮大で神々しい。船が洞穴に近づくにつれて、それまでの好奇心が畏怖の念に変わっていく。船は「神潜戸」の西口から入る。すると、水しぶきの洗礼が……。この水にかかる洞窟から出られない、という言い伝えに船上で思わず身構えてしまう。何だかゾクゾクと感じてきた。

洞穴の中に船が進むと鳥居が見えてくる。『出雲国風土記』には、佐太大神(松江市鹿島町の祭神)がここでお生まれになったとある。かつては加賀神社が鎮座する神域として、深く信仰されていたという。今でも古代からの信仰心が浮遊しているのだろう。自ずと神聖な気持ちになる。

出口となる東口でも、水がしたたり落ちてくる。この水は「乳水」と呼ばれ、母乳の出ない母親が飲むと、お乳が出るというわら。

さて一方、旧潜戸こと「仏潜戸」。こちらは船を降りて上陸できる。仏潜戸は死んでしまった子どもの魂が集まる「暮(さい)の河原」。石が積み上げられ、子どもが愛用した着衣やはきものが供えられている。幾世代も経て風化した供え物、その上に新しく積み上げられた石。海風さらされた無数の石の壟は物悲しい。

「仏潜戸」の内側も神秘的。鬼気迫るパワーがあり、寒気さえ感じて恐怖心が沸き上がってきた。この恐ろしさは道園地のジェットコースターなどの比ではない。「仏潜戸」の正面に見える柱島にはキャンプ場があり、このキャンプ場では夜になると子どもの声を聞くそう。

神潜戸は荘厳なパワー、仏潜戸はミステリアスなパワー。いずれもかなりハイレベルのエネルギー。観光船が運航しているスポットなんて、とあなどることなかれ。

関係者ワークショップや一般市民によるスポットの提示

関係者による評価やコメント

### ■ 市民から集まったミステリアススポット

- 計 65 スポット (うち、市民公募 : 49 スポット)
- (出雲・平田地区 : 23 スポット、松江地区 : 28 スポット、米子境港大山地区 : 14 スポット)

#### <投稿記事例>

|                |                                                                                                                                                                                                                                                         |
|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 華蔵寺の摩崖仏 (不動明王) | 出雲國神仏霊場、日本風景街道に組み込まれている華蔵寺の参道を登っていくと、左側の崖に大きな摩崖仏があります。松江城の鬼門にあたり、松江城鎮護のためにつくられたとのこと。足元に、杉井の霊水が湧出しており、大きな杉の林の中に立てられた摩崖仏 (不動明王) は、大きな存在感で畏怖を感じます。                                                                                                         |
| 田和山遺跡          | 田和山に壕が見つかって、価値が有るか無いか、保存が必要だと世間を騒がしている時分に、知人と、泥まみれになりながら、上まで登ってみました。すると、ものすごく不思議なんです、茶臼山がみえ、宍道湖が見え、枕木山、など、家も立っているのに、なんだか、古代の風景が見えるような錯覚に陥りました。(ここは、なんだか、すごいぞ、残すべき場所だ!) はじめ人間ギョートルズの世界に見えたのです。ぜひ、登ってみてください。不思議な感覚に包まれます。でも、今では、市民病院が立っている、茶臼山は見えないでしょうね。 |
| 多古の七つ穴         | 島根町多古(沖泊)からシーカヤックで30分。幾重に洞窟がつながり、あたかも海の回廊のようになっていました。中央部に入るとまるで大きなホールのように天井も高く、声をあげると・・・独特な響きでゾクゾクとしました。ここはまったく観光化されていませんが、それだけにアプローチもしくく、まさに秘境といってもいいかと思います。                                                                                           |
| 夕暮れ時の宍道湖       | 夕日もきれいですが、毎日違う表情を見せる湖面と空、雲の色はとても神秘的で癒されます。そして、夕日の沈む先には出雲大社というロケーションは最高です。                                                                                                                                                                               |

# I - 1 ~ 2 ポータルサイト・マップ事業 (② 圏域連携・効率化に向けた特派員によるコンテンツ供給のしくみづくり支援)

- 圏域連携やポータルサイト運営の効率化に向けて、特定のエリアやテーマに関して多くの知識・経験を持つ個人・団体にポータルサイトの特派員になっていただき、記事を投稿・掲載するしくみづくりを支援

## ■ 従前の特派員による投稿コーナー (3人による記事の投稿)



- ・ 広域なエリアを3人で担当しているため労力が集中し、負担が大きい。週に1、2度の更新は個人的能力に支えられている
- ・ このため必要だと感じているエリアやテーマに応じた記事投稿などへ手が回らない状況にある

- 中間支援組織から、多様な主体の参加や運営労力の分散化・効率化に向けて、特派員の増員を提案
- 中間支援組織スタッフの既存ネットワークを用いて、特派員を確保

## ■ 確保した特派員の担当テーマ (現在もテーマ拡大に向けて勧誘中)

- ・ 大山のリゾート
- ・ 体験 (インドア・アウトドア)
- ・ 皆生温泉
- ・ 妖怪
- ・ 山陰グルメ
- ・ 海の幸
- ・ 大山の山歩き
- ・ 農業・グリーンツーリズム
- ・ 米子周辺の歴史
- ・ 特産品・おみやげ
- ・ 米子町歩き
- ・ 水鳥公園
- ・ 社寺仏閣
- ・ 蕎麦
- ・ お茶
- ・ 和菓子
- ・ 宍道湖の写真 など、30 テーマ (目標)

## ■ 充実したコーナー (イメージ: 3月上旬運用開始予定)



投稿

## I－１～２ ポータルサイト・マップ事業 （② 施設運営者）

- 圏域内の施設運営者がイベント情報などを随時更新し共有できるシステムについて、構築と普及宣伝による立ち上げを支援
- 圏域内で参加登録が進む

### ■ 従来

- ポータルサイトに掲載する、各種主体ホームページの更新情報や観光施設等における最新のイベント情報

| 新着情報・トピックス                                                                       | RSS | 最新イベント情報                                                                         | RSS |
|----------------------------------------------------------------------------------|-----|----------------------------------------------------------------------------------|-----|
| [>> 新着情報・トピックス一覧]                                                                |     | [>> イベント情報一覧]                                                                    |     |
| 2007年02月19日<br><a href="#">New!! 「縁結びドライブなび」作成記念キャンペーン（2月25日～3月29日）</a>          |     | 2007年02月16日<br>[出雲] 宍道湖自然館ゴビウス “ドクターフィッシュ”で手のひらエステ（～4月16日）                       |     |
| 2007年02月19日<br><a href="#">New!! 「南部町」とっとり花回廊 クロッカス4万球が満開！ひと足お先に“春”のデコレーション</a>  |     | 2007年02月16日<br>[出雲] ズワイガニ1杯に、各種食べ放題・飲み放題付きで9000円 島根ワイナリー創立20周年サックスフェア開催中（～3月31日） |     |
| 2007年02月16日<br><a href="#">【松江・米子】いよいよ梅の花が見ごろです。訪れる春を前に、しばし冬の名残を楽しんでみませんか</a>    |     | 2007年01月11日<br>[出雲] 日御崎神社 和布刈神事（2月22日）                                           |     |
| 2007年02月16日<br><a href="#">【安来】足立美術館 無料シャトルバス 3月18日～のダイヤ改正でさらに増便！1日8往復に</a>      |     | 2007年02月10日<br>[松江] 松江市営バスで行く“縁結びモニターツアー”（2月23日）                                 |     |
| 2007年02月18日<br><a href="#">【大山】大山トムソーヤ牧場 世界最小ミニ豚の赤ちゃんが誕生！</a>                    |     | 2007年02月16日<br>[島根・津和野] 新酒発表会、郷土料理の試食、料理・菓子の展示etc. 津和野 あがん祭開催（2月24日・25日）         |     |
| 2007年02月12日<br><a href="#">【松江】松江フォーゲルパーク ペンギン・コクチョウのヒナが誕生！</a>                  |     | 2007年01月28日<br>[南部町] とっとり花回廊 らんまつり（2月24日～3月4日）                                   |     |
| 2007年02月15日<br><a href="#">【鳥取・北栄町】「名探偵コナン」もお出迎え？「青山剛昌ふるさと記念館」3月18日グランドオープン！</a> |     | 2007年02月19日<br>[松江] 第30回本物を作ろう教室[灯ろう教室]（2月25日、3月4日・11日）                          |     |
| 2006年12月28日<br><a href="#">サイトを巡って山陰地蔵のキーワードを探せ プレゼントキャンペーン第2弾で豪華賞品をゲット！</a>     |     | 2007年02月16日<br>[出雲] 宍道湖自然館ゴビウス 企画展「極東アジアの淡水魚」（2月28日～4月16日）                       |     |
| 2007年02月13日<br><a href="#">縁結びに纏わるナゾ・噂を検証！ 縁結び観光協会発「縁結び団」が行く！ページが女性の間で話題に</a>    |     | [境港] 宍道湖vs中海 七珍対決（3月4日）                                                          |     |
| 2007年02月12日                                                                      |     | 2007年02月19日<br>[松江] 島根県立美術館 企画展「ルソーの見た夢、ルソーに見る夢」（3月9日～5月6日）                      |     |

- ・ ポータルサイトには、圏域内のイベント情報などが多く集約する必要があるが、ポータルサイト運営者側から情報を収集して掲載。経常的に労力負担が大きい。
- ・ 個別のホームページの更新にあわせて自動的にポータルサイトに情報が送られてくる機能（RSS 機能）を設置しているが、圏域内の観光施設等で対応しているホームページはごくわずか。

- ホームページを持たない施設運営者等

- ホームページの更新に手間がかかる施設運営者等

- 情報提供システムの構築支援
- 中間支援組織としての宣伝・参加呼びかけ

- ・ 容易にイベント情報を提供可能
- ・ ポータルサイト運営者の経常的に労力負担が減少

#### ○ 参加登録者

- ・ 行政担当課・職員（鳥取県、米子市、出雲市、江府町）
- ・ 観光協会（米子市、境港市、松江、大山町）
- ・ 観光案内所（境港市、大山町）
- ・ 宿泊施設関係者（米子市内×2、松江市内、伯耆町内）
- ・ 米子市内放送局
- ・ NPO関係者
- ・ 旅館組合関係者
- ・ 観光施設関係者
- ・ 各種協議会関係者

など、約30団体、約50名が参加登録（現在も参加呼びかけ中）

## I-1~2 ポータルサイト・マップ事業 (④市民の相互交流と自動更新に向けた投稿システムの作成)

- 市民(圏域内外)が自由に投稿できるシステムを構築し、相互交流を促しながら圏域全体の活性化を図るとともに観光資源を発掘
- 既に100件以上の投稿があり、情報交換も行われている

### ■ 「みんなで!山陰」の概要

携帯電話から投稿できる  
(場所のプロットも可能)

記事に返信・コメントできる

パソコンから投稿できる  
(場所のプロットも可能)

自分のブログを登録できる

### ■ 投稿記事に対するやり取りの例

武者行列の練習中です! in母衣小学校体育館  
寒い中ですが、頑張ってます☆

投稿時刻/14:10 | コメント(2件)

削除用パスワード  削除する

この写真へのコメント

武者行列ですか!!4月に松江であるイベントなんですよね。楽しみです☆☆☆松江城まで練り歩くのかしら?

投稿者/きょん: 2007年02月04日 14:23

武者行列は4月7日(土)に松江開府400年祭のオープニングとして天神ロータリー→松江城を練り歩いて開催されますよ! みんな着物でぜひ見に行きましょう!!

投稿者/ayaz: 2007年02月04日 21:12

### ■ 活動・撮影場所を地図で表示した例

あしあとMAP 位置情報が付いた画像をマップで閲覧しよう!

あしあとMAPに投稿する

※位置情報が付けられる携帯、またはパソコンからの投稿に対応します。

2007年2月11日  
はるーさん  
宍道湖で浮かぶ島がある島居です。  
コメント(0件)

2007年2月7日  
やす  
楽しくパソコン勉強中!  
コメント(0件)

### ■ 投稿状況 (2/14 現在。仮想中間支援組織調べ)

- 投稿記事数 : 96件  
(観光スポット: 47件、店舗・商品等紹介: 23件、市民活動: 15件、イベント紹介: 7件)
- ・レス(応答)あり: 46件、地図情報あり: 22件
- ・ブログ登録: 6件

# I－１～２ ポータルサイト・マップ事業（うち、⑥ 効率的で効果的な運営・作成に向けたあり方の検討と提案）

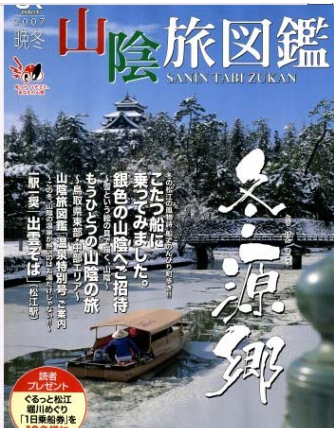
（          ：特徴的な事項）

|                                                        |                       |                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                  |
|--------------------------------------------------------|-----------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>名称</p> <p>運営主体・製作担当</p> <p>サイトイメージ</p>              |                       | <p>①山陰観光 旅のポータル 神々のふるさと山陰</p> <p>■運営<br/>中海・宍道湖・大山圏域観光連携事業推進協議会（米子商工会議所が担当の情報発信委員会で運営）</p> <p>■製作<br/>NPO 法人大山中海観光推進機構、神話の国縁結び観光協会、鳥取・島根両県下行政職員</p>  | <p>②さんいん旅ねっと</p> <p>■運営<br/>一畑電鉄(株)</p> <p>■製作<br/>(株)一畑プランニング</p>  | <p>山陰観光連盟</p> <p>■運営<br/>山陰観光連盟<br/>（（社）鳥取県観光連盟、（社）島根県観光連盟、JR 西日本）</p> <p>■製作<br/>JR 西日本</p>  |
| <p>コ<br/>ン<br/>テ<br/>ン<br/>ツ</p>                       | 圏域内主要エリア              | 6 エリア ＋ 3 エリア（鳥取砂丘、梨の花温泉郷、津和野・石見）（大山／皆生温泉・米子／境港／松江・宍道湖／出雲／安来）                                                                                                                                                                          | 5 エリア（鳥取砂丘／大山・米子・境港／松江・出雲／隠岐の島／津和野・浜田・大田）                                                                                                              | ・特にエリア分けせず<br>（両県観光連盟サイトでは、各々3 エリアに分けて紹介）                                                                                                                                        |
|                                                        | 観光施設等の記事<br>施設数（島根東部） | 主にオリジナル作成・一部リンク<br>246 （松江 112＋出雲 92＋安来 42）                                                                                                                                                                                            | 全てオリジナル作成<br>68                                                                                                                                        | 全てオリジナル作成<br>20（島根県観光連盟「しまね観光ナビ」には16）                                                                                                                                            |
|                                                        | 観光施設等検索方法             | ・エリア別のほか、目的別、シチュエーション別                                                                                                                                                                                                                 | ・エリア別 → 目的別                                                                                                                                            | ・エリア別のみ                                                                                                                                                                          |
|                                                        | イベント等新着情報<br>（1 月計）   | ・新着情報・トピックス 12 件<br>・最新イベント情報 14 件                                                                                                                                                                                                     | （過去のイベント情報は閲覧できないためデータなし）                                                                                                                              | ・イベントカレンダー 15 件                                                                                                                                                                  |
|                                                        | 特集・ピックアップ<br>記事       | （「さくっと山陰」部分）<br>・今月の特集、など、10 以上の特集記事を掲載                                                                                                                                                                                                | ・イベントや旬の食材など、数件の特集記事を掲載                                                                                                                                | ・おすすめ観光地をテロップ形式で掲載                                                                                                                                                               |
|                                                        | エリア特派員ニュー<br>ス        | （「どっぷり山陰」部分）<br>・3 人が各々週に1,2 回程度、写真とともに記事を投稿                                                                                                                                                                                           | （「管理人が行くシリーズ」部分）<br>・不定期で管理人が写真とともに記事を投稿                                                                                                               | 特になし                                                                                                                                                                             |
|                                                        | 特産品情報                 | （「特産品ショッピング」部分）<br>・松葉ガニやどじょうなど、特産品を紹介（販売はしていない）                                                                                                                                                                                       | （「山陰特品店」部分）<br>・かにや梨などについて、通販や販売店の紹介を実施                                                                                                                | 特になし                                                                                                                                                                             |
|                                                        | 旅行モデルプラン・<br>テーマ別マップ  | （「山陰まるごと MAP」部分）<br>・縁結びグッズ MAP や日本酒 MAP、初詣 MAP など、6 テーマ                                                                                                                                                                               | （「個人旅行相談」部分）<br>・ロマンあふれる出雲・伯耆の古代史コースなど、4 コース                                                                                                           | ・県別に観光地スライドショーあり                                                                                                                                                                 |
|                                                        | 旅の掲示板                 | ・旅の窓口掲示板があり、イベントの告知等に利用（月に数件の投稿頻度）                                                                                                                                                                                                     | ・旅行予定者に対して、ふるさと案内人がプランを提示するなど、きめ細かな対応（週に数件の投稿頻度）                                                                                                       | 特になし（「しまね観光ナビ」には観光・グルメ・歴史に関する掲示板有（投稿少）。「鳥取県観光情報」には観光掲示板「旅のコンシェルジェ」があったが閉鎖。）                                                                                                      |
|                                                        | バナー                   | ・鳥取県観光情報                      ・しまね観光ナビ<br>・大山王国                              ・縁結び協会（一期一縁）                                                                                                                                              | 特になし                                                                                                                                                   | 特になし                                                                                                                                                                             |
| リンク                                                    |                       | ・圏域内市役所・商工会議所・観光協会のページ 多数<br>・民間のポータルサイトや個人のブログ 多数                                                                                                                                                                                     | ・縁結び協会                                                                                                                                                 | ・鳥取県観光情報                      ・しまね観光ナビ                      ・JR 西日本米子支社<br>・JR お出かけネット                      ・山陰観光連盟会員のページ                                                        |
| <p>カウンター計測 ※<br/>（1/24-2/7：2 週間）</p>                   |                       | 5,019<br>（ただし、同日同一パソコンでの再表示をカウントしない）                                                                                                                                                                                                   | 3,134<br>（ただし、再表示すれば1 回の閲覧としてカウントされる）                                                                                                                  | 1,175<br>（ただし、再表示すれば1 回の閲覧としてカウントされる）                                                                                                                                            |
| <p>各種検索サイト検索ラン<br/>キング(YAHOO/Google:「山<br/>陰」で検索時)</p> |                       | 7 位    ／    2 4 位                                                                                                                                                                                                                      | 1 6 位    ／    4 位                                                                                                                                      | 9 1 位    ／    1 0 位                                                                                                                                                              |
| <p>特記・備考</p>                                           |                       | ・内容・ビジュアル面で洗練されている（写真や記事など）<br>・鮮度のある情報が発信されている（特集記事・特派員記事）<br>・運営労力の分散化が一部図られている（特派員記事・RSS 機能等）                                                                                                                                       | ・観光の際に役立つ情報が多い（交通情報・天気情報・宿泊施設検索・土産情報など）<br>・観光予定者に対する相談掲示板が充実、利用頻度も高い                                                                                  | ・両県の観光情報を一通り把握できる（詳しい情報は、両県の観光連盟のホームページへ移動することにより得られる）<br>・イベントカレンダーがあり、観光客にとって見やすい                                                                                              |
| <p>運営上の課題<br/>連携に当たっての課題<br/>（ヒアリングによる）</p>            |                       | ・内容充実に向けた、圏域内の情報提供協力体制の強化<br>・圏域内でのポータルに対するコンセンサス形成<br>・広告掲載などによる運営財源確保<br>・検索エンジンへの最適化と認知度向上                                                                                                                                          | ・かなり両県のことを意識して作ったが、それでもまだ島根色が強いと言われる。<br>・他サイトとの情報共有は必要だと考えるが、各論に入ったときには調整は大変である。                                                                      | ・鉄道客主体で考えている事業なので、航空・バスなどとの事業者間の調整も必要である。例えば米子駅から乗り換えて大山へバスで向かう際の情報などは提供できていない。<br>・各事業者サイトがうまく共存する方策を探るほうが良いのでは。                                                                |

※ 鳥取県観光連盟「鳥取県観光情報」：15,593、島根県観光連盟「しまね観光ナビ」：19,105

- ・以上のほか、地域を限ったサイト（大山王国、一期一縁など）や、民間で運営するタウン情報系サイト（米子ガイド、街 lab、来福、島根県タウンマップわくわくしまねなど）がある。
- ・複数エリアにまたがるものを対象とし、単一市町村の情報発信サイトは除く。インターネット上での情報収集、各団体へのヒアリング等によりランドブレインで作成。

## I-3 フリーペーパー事業

|                                           |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                          |
|-------------------------------------------|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>名称</p> <p>運営主体・製作担当</p> <p>サイトイメージ</p> |                 | <p>①see!</p>  <p>■発行<br/>大山山麓観光推進協議会、<br/>NP0 法人大山中海観光推進機構<br/>■編集・製作<br/>NP0 法人大山中海観光推進機構</p>                                                                                                                                                                                                  | <p>②く～る</p>  <p>■発行<br/>(株)エス・アイ・シー<br/>■編集・制作<br/>セゾン</p>                           | <p>③山陰旅図鑑</p>  <p>■発行<br/>JR 西日本米子支社<br/>■編集・制作<br/>JR 西日本（民間に委託）</p> |
| 基礎的情報                                     | 発行部数            | 4 万部                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 5 万部                                                                                                                                                                    | 2.5 万部                                                                                                                                                   |
|                                           | 発行頻度            | 隔月・年 6 回発行                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 年 2 回（予定）                                                                                                                                                               | 6 回/年（隔月刊）                                                                                                                                               |
|                                           | 流通エリア           | 鳥取県西部～島根県東部の駅・空港観光案内所、ホテル・旅館、文化・公共施設、銀行や郵便局の窓口、コンベンション施設、書店・歯科医院・美容院等の店舗、東京都内地元関連飲食店等                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 鳥取県西部～島根県東部のホテル・温泉旅館、駅・空港観光案内所、ローソン店舗内、その他観光施設                                                                                                                          | JR 西日本の京阪神、岡山、広島支社エリアの主要駅並びに JR 四国の主要駅<br>（上記主要駅に「専用ボード」を設置）                                                                                             |
|                                           | 機能・位置づけなど       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・県境を越えた地元向けのイベント情報の提供とあわせ、観光客向けの着地型観光・イベント情報を提供</li> <li>・公益的な情報媒体として位置づけ、地域文化の振興に理解ある印刷・製本業者の全面的な協力を得るとともに、銀行などからのスポンサーも有り</li> </ul>                                                                                                                                                                                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ある程度観光客に特化した着地型のメディア</li> <li>・広告収入などによる会社の収益事業として位置づけている</li> </ul>                                                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・山陰エリアの情報発信ツールとしてのプロモーション、発地型観光情報提供の役割</li> <li>・パンフレット、ポスター掲示の 2 本立ての事業</li> </ul>                               |
|                                           | 事業費（発行に係る経費の概算） | 5 0 万円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 2 5 0 万円                                                                                                                                                                | 事業費は非公開                                                                                                                                                  |
| コンテンツ                                     |                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特集記事（アウトドア・イベント、季節の味覚、花情報など）</li> <li>・圏域内各イベントのピックアップ記事</li> <li>・鳥取県西部と島根県東部のイベントカレンダー</li> <li>・鳥取県西部と島根県東部の美術館・ギャラリーカレンダー</li> <li>・米子空港フライト情報</li> <li>・新刊・新譜情報</li> </ul>                                                                                                                                                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特集記事（中海遊覧船、沿線エリア情報）</li> <li>・体験情報（酒蔵特集）</li> <li>・おすすめスポット（出雲そば、郷土料理、アート）</li> <li>・物産特集</li> <li>・圏域マップ、松江エリアマップ</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特集記事（エリア紹介、グルメ、温泉、各種体験など）</li> <li>・一駅一奨（駅ごとの土産、名物紹介）</li> <li>・山陰へのアクセスマップ</li> </ul>                           |
| 運営体制<br>（情報を得る手段、取材の労力など）                 |                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政や観光施設への取材</li> <li>・ポータルサイトにある情報の活用のほか、MLでの情報収集、各ホームページでの情報収集など</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・他メディアが取り上げていない情報を掲載したいため、各スタッフの人的ネットワーク（口コミ）をメインに情報収集</li> <li>・人的ネットワーク（口コミ）を基に、ライターが取材に出向く</li> </ul>                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政や観光施設への取材及び独自取材を実施</li> <li>・企画、取材、編集は JR 内部及び部外委託にて実施</li> </ul>                                              |
| 運営上の課題<br>他のフリーペーパーとの連携について<br>（ヒアリングによる） |                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・編集側から情報を取りに行かなければならぬ大変な労力を要する。さらに、評価し表現する事にかなりのスキルを要す</li> <li>・対象地域が広がりつつあり、多様な情報を網羅するためには最低 8 ページ程度が必要（現在 4 ページ）。発行部数も増やしたい</li> <li>・情報誌をきちんと評価いただき、安定したスポンサーの確保を図る。特に島根側の情報量の増加に伴い、今後はそちら側からの資金面でのサポートを得たい</li> <li>・情報収集のための人的ネットワークの強化が必要。若い制作スタッフの養成も急務</li> <li>・連携の可能性はないことはないが、実際はかなり難しいように感じる。こちらから情報を提供する事だけであれば可能</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブランド化し、認知度を高め、広告収入（運営費）をいかに確保するかが課題</li> <li>・今後は、情報量より質にこだわり、圏域内外のどなたにとっても有益な情報を核に紹介し、ブランド化していきたいと考えており、連携は特に考えていない</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・旬の情報をいかに収集し提供していくかが重要</li> <li>・他紙との連携については、流通エリア・役割が異なるため考えていない</li> </ul>                                      |

・以上のほか、配布場所を限定したもの（一畑高速バスの車内誌「神話王国 Suki」）や、中国 5 県に対象エリアを広げたもの（山陰中央新報の「A L O O K」）などがある。  
複数エリアにまたがる観光情報系のものを対象とし、インターネット上での情報収集、現地調査、各団体へのヒアリング等によりランドブレインで作成。

## I - 4 圏域外情報の収集・共有事業

### 1. 首都圏住民アンケート調査(中間集計)

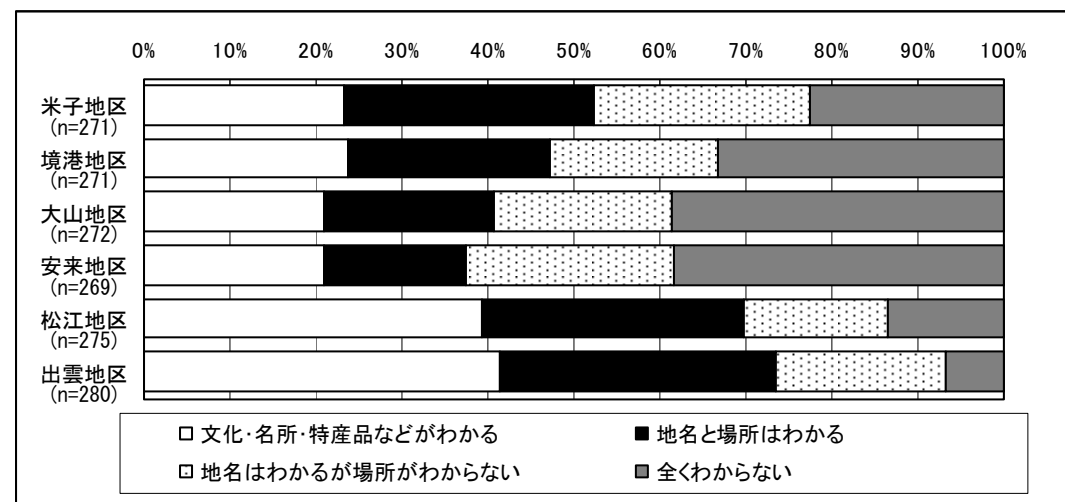
#### ■ 調査概要

- 調査対象：中海・宍道湖・大山圏域から出店しているアンテナショップ、割烹料亭、居酒屋への来店客
- 対象数：(目標) 各店 100 名
- 調査方法：来店客が店内にて記入
- 調査期間：平成19年2月9日～2月23日
- 回収数：290 票 (2月20日時点)

#### ■ 調査結果の概要 (特徴的な結果のみ抜粋)

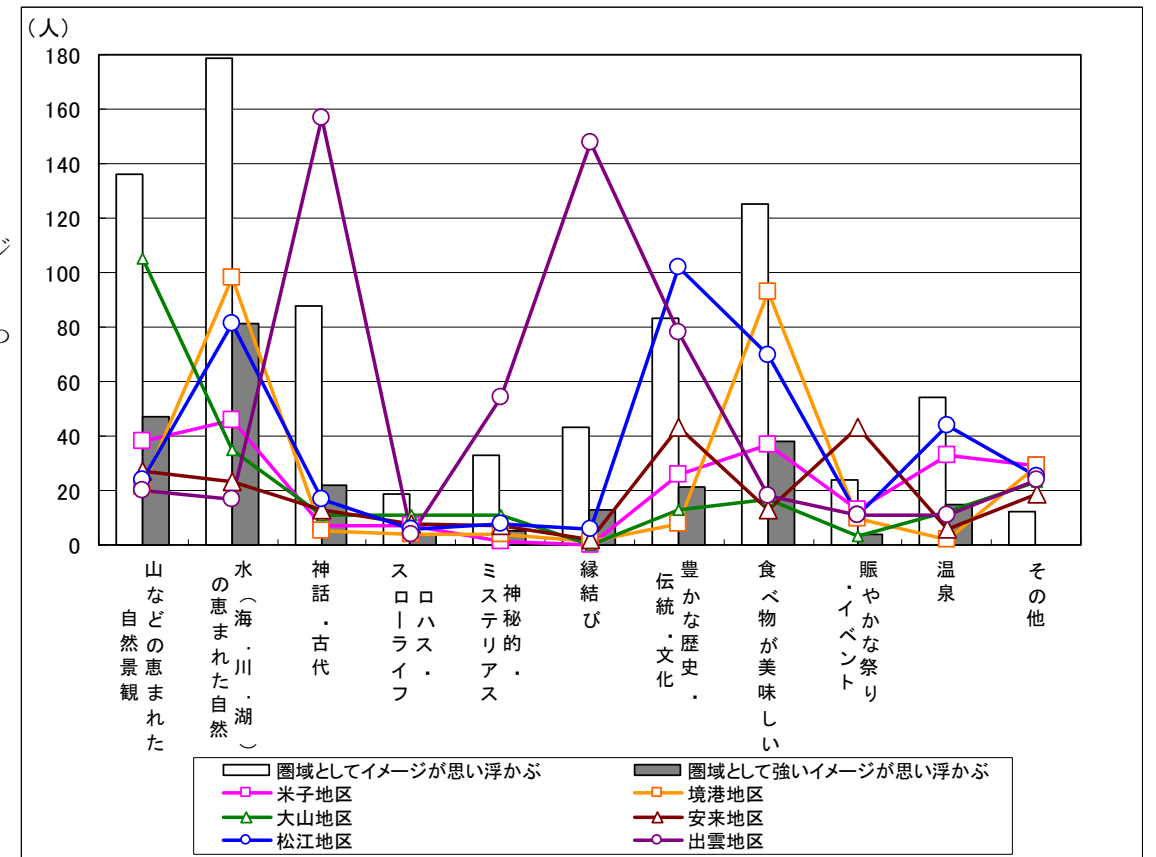
- 圏域内地区の認知度に大きな差がある(地名を知らない人が地区別で7～36%のばらつき)。
- 圏域全体のイメージとしては、「水に恵まれた自然(179人)」「山などの恵まれた自然景観(136人)」「食べ物がおいしい(125人)」の順に強く、地区ごとにイメージが大きく異なる。
- 圏域に行ったことがない人の多くは、圏域を「もっと広いと思って」いる(51%)。
- 全体として、「圏域で周遊型の旅行をしたい」人が多い(71%)。

#### ○ 中海・宍道湖・大山圏域内の各地区の認知度



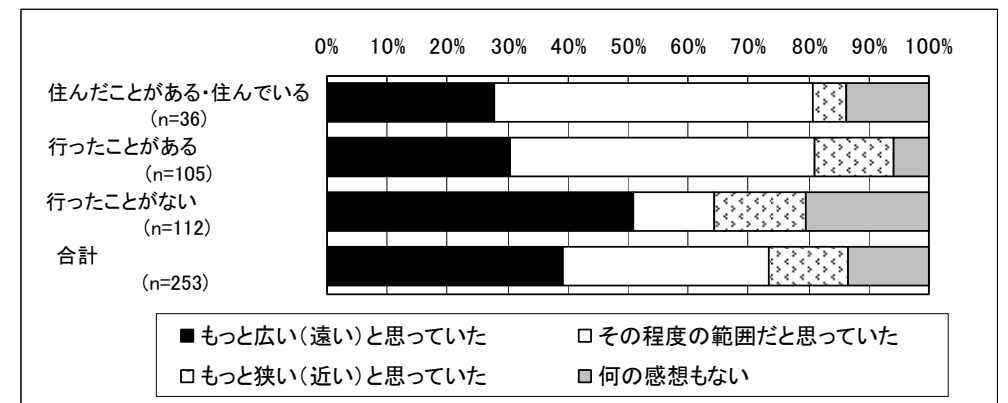
#### ○ 圏域全体のイメージ(棒グラフ)と各地区のイメージ(折れ線グラフ)

※圏域全体のイメージについては複数回答、各地区のイメージについては3つまで回答

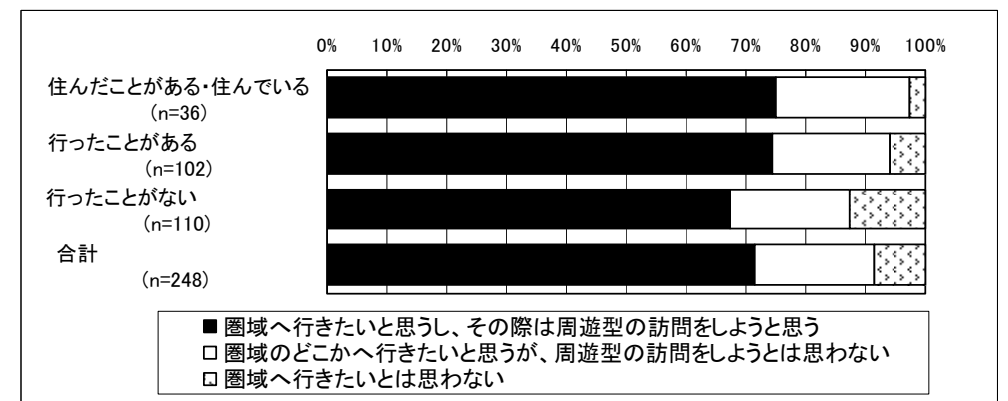


#### ○ 以下の文章を聞いた感想

圏域は、東の大山から西の出雲大社まで、車で約2時間の範囲(約100km)です。また、米子空港と出雲空港までは、車で約1時間強の距離です。



#### ○ 中海・宍道湖・大山圏域へ行きたいと思いますか。周遊型の訪問をしてみたいと思いますか。





## 2. 調査・提案の全体像

### 圏域外への情報発信や圏域外情報の受信・共有に関する現状認識

#### 首都圏意識調査(アンケート調査・インタビュー調査)

- <アンケート調査>** (圏域から出店する飲食店3箇所、アンテナショップ1箇所)  
※2/9～実施。前ページより
- 圏域として山や湖などの自然と食べ物に関するイメージが強く、地区ごとに特徴的なイメージを持たれている。しかし、知名度が低い地区が多々見られる
  - 圏域外が意外と狭いことを認識した上で周遊型観光をしたいと望む首都圏住民が多いことから、効果的な情報発信が圏域全体の観光振興に寄与するが期待される
- <インタビュー調査>** ※3/上に実施予定  
※首都圏在住の一般主婦および団塊シニア層を対象にグループインタビュー  
※首都圏メディア関係者を対象に意見交換会

#### 圏域内ヒアリング調査

- 自治体観光セクション、物産協会、商工会議所では、情報共有の必要性を感じてはいるものの、圏域としての情報共有に向けた取組みはない。
- 特に物産関係者においては、圏域で情報共有や共同販売戦略を打ち立てて行動する効果や必要性について、認識が広がっていない。

#### 自治体

- ・情報共有・発信の面から圏域を越えて各種主体で連携を図ることは有意義
- ・圏域全体で地域間のバランスのとれた取組を進めていくことが重要

#### 物産協会・商工会議所

- ・ブランドイメージをどのように構築し、アピールしていくかが大切
- ・圏域へのニーズを把握・共有して販売戦略を立て、アンテナショップなどで販売促進を実施しても、現在の生産体制では販売できる商品の数量確保が難しいとともに、松江市以外でどの程度商品が出せるか疑問

#### 広域連携に関する事例調査(共同アンテナショップ)

- <みちのく夢プラザ>** (北東北3県→福岡市内。物販、情報コーナー、休憩所。)  
○3県知事サミットで情報発信拠点の設置を決定。アジアからの観光客への情報発信も見込んで福岡に設置  
○3県連携により、経費節減と特産物・観光情報が一度に入手可能なことがメリット  
○必要に応じて物販・観光相談内容を地元情報提供。商品改良にも繋がっている
- <せとうち旬彩館>** (香川・愛媛→東京都内。物販、飲食店、情報コーナー)  
○互いの既存店が移転を余儀なくされたことを契機に、コスト削減を主目的に設置  
○観光交流コーナーを設けており、個人の観光相談のみならず、事業者から地元企業とのマッチングを依頼され、対応することが多々ある  
○場は両県で設け、店舗運営は主に東京の企業が運営。地元出身者を店員にしていれば、今以上にリピーターや観光客を取り込めるはずである

### 提案の目的・基本方針 (提案のイメージ)

#### 圏域外情報の把握・共有と一体的な情報・販売戦略の構築・共有の目的・方法の検証

本圏域において、今後、圏域外情報を把握・共有し、情報・販売戦略を一体的に構築して圏域を売り込んでいく目的・方法について、仮想中間支援組織として、以下のテーマに関して検討を行い、提案を作成する。

#### 提案1 情報収集・共有方法について

圏域外への情報発信および圏域外の関連情報の収集・共有化することの目的を明確にした上で、その具体的な方法やメリット・デメリット、配慮すべき事項等について検討する。

##### <情報収集・共有方法(方向性を検討中)>

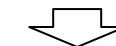
- 既存アンテナショップや首都圏へ圏域から出店する店舗(飲食店等)を活用する方法
- ポータルサイトを活用して情報を収集する方法
- 圏域内の多様な主体が圏域外での情報を共有できる組織・場を設置する方法 など

#### 提案2 情報発信・販売促進について

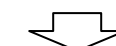
首都圏を中心とした圏域外への情報の発信や地域産品の販売促進に向けて、販売戦略を構築した上で、圏域の各種主体が連携して一体的に取り組む方策を検討する。

##### <提案内容(方向性を検討中)>

- ご当地発のこだわりある商品情報の発信
  - ・画一でない地域のもつ力自身に魅力をもち、首都圏のロハス消費者に訴求力とこだわりある、良品質感を訴える商品コンセプトづくり
- 圏域の各種主体が連携した情報発信の取組方法
  - ・圏域内の自治体が共同でアンテナショップを設置・運営して発信する方法
  - ・ポータルサイトを活用して情報を収集する方法 など
- メディアとの効果的なリンク  
トレンドに敏感な消費者の情報源となるメディア・情報ツールを活用した、圏域一体としての効果的な販売促進、流通チャネルづくり



圏域内商工関係者へ提案を提示し、反応を調査



本事業の検証(中間支援組織が実施した意義や課題の整理 等)

## I－１～２ 講演会・交流会

- 1) 日時：平成18年12月22日（金） 17：00～19：00
- 2) 場所：米子商工会議所
- 3) 次第：
  - ①講演会 【講演】17：00～18：10 【質疑・意見交換】18：10～18：30
    - 講師：朝廣佳子氏（NPO 法人なら燈花会の会・前会長）
    - 内容：「なら燈花会」等、奈良でのご活動の内容をもとに、地域の様々な主体間での連携方法、観光振興のあり方などについて
  - ②交流会 18：30～19：00

○ 会場の様子



○ 仮想中間支援組織藤岡所長の挨拶



○ 朝廣佳子氏による講演



○ 同左



○ なら燈花会の会の説明



○ 同左



### ■ 主な質疑応答の内容

- Q. 市民と民間と行政との役割分担について、行政には徹底して裏方に回ってもらったという話であったが、そのプロセスをもう少し詳しく聞きたい。
- A. “ならまつり”は、すでに奈良市自身が限界を感じていたようで、奈良市の方からやってもらいたいという意向があった。市からの依頼だったので、こちらからも要望を出しやすい状況であった。それから、最初は県が事務局を持っていたが、奈良市のお祭りだったので、県としては少し離れたスタンスで関わっていて、市も同様のスタンスでやっていこうということになった。途中、問題点がいろいろと出てくるが、問題が発生したら、とにかく市役所としっかり話し合いをしてやっている。
- Q. 効果について、説明があったが、具体的に宿泊数などに変化があったのか。
- A. 旅館やホテルの宿泊数は確実に増えていっていると思う。当初は電話をかけると満室だといわれるが、協賛金をもらいに行くと、「がらがらです」と言われたりした。しかし、最近はきちんとした状況を教えてもらえるようになった。旅館組合の青年部に燈花会の会員になってもらったが、燈花会を素材として“燈花会パック”といったような宿泊プランを作ったり、料理を工夫したり、浴衣の無料試着サービスを提供したりして、旅館やホテルも変わってきた。
- Q. トイレの問題など、イベント以外の必要な情報をどのように流しているのか。
- A. 当日マップというのを配布していて、その中に、トイレとか、楽しめるスポットなどの情報を入れているのと、ホームページを開設して情報を提供している。それから、来場者が自分のホームページとかブログに上げてくださっていて、私たちが掲載していなくても、燈花会の状況とか、面白かったことを情報発信してくれている。
- Q. 県や市からの補助金が削られる懸念はないのか。
- A. 補助金は減ってきているが、補助金に頼らない独立自主運営の組織を目指しているので、補助金が削られても、その税金を有効に使っていただければいいと思っている。市や県が奈良のひとつの夏の行事と位置づけてくださっていると思っているが、イベントの規模やレベルを落としてまでやっていくようになったときには話し合いをさせてもらいたいと思っている。しかし具体的な案はまだないが、できるだけ補助金に頼らないようにしていきたいと考えている。
- Q. カップやろうそくの金額はどのくらいか。
- A. ろうそくが今年は、1日2万個だったが、きっちりでは足りなくなるので仕入れは2万5000個。ろうそくは倉敷のペガサスキャンドルからの仕入れで、燈花会用に特別に作ってもらっている。これを50個以上の場合は、1セット290円でお分けしている。
- Q. 許認可の話について簡単に話されたが、たいへんだったのでは。
- A. 春日大社などの文化財対象から50メートル以上離すように言われるようである。許認可については、NPOになる1年目から自分たちがやり始めたが、同じことを申請書に記載してもなかなか通らず、4倍ぐらいの資料を求められた。しかも実施の数日前に許認可が下りるぐらい厳しい状態だった。

## Ⅱ—2 インターネット相談事業

- 圏域内の NPO のみならず、活動団体や市民等が気軽に訪れ、活動や組織運営上の課題を相談するとともに、相談内容について、圏域内各種活動団体が相互に対応するシステムを構築し、圏域全体の活動の活発化と一体感の醸成
- 講演会等のお知らせが 2 件ある他には、相談や仲間探し等の投稿がない。

### ■ 「山陰まち・ひと・え〜る」の概要



#### 「山陰まち・ひと・え〜る」市民活動相互相談システムとは

「山陰まち・ひと・え〜る」は、まちづくり、ボランティア、コミュニティ・ビジネスなど、さまざまな市民活動に取り組むみなさんを応援する、情報交流と相談・支援のためのコンテンツです。

「仲間を集めたい!」「イベント情報を発信したい!」「ちょっと教えて!」など、市民活動に取り組むみなさんの声を集めて、みんなで解決のヒントを探していく。そんなコーナーをめざしています。

#### カテゴリ1 この指とまれ!

仲間募集のカテゴリです。メンバー募集、団体相互の連携などの呼びかけ、情報発信はここでどうぞ!

#### カテゴリ2 教えてちょ〜だい!

困りごとや課題解決のヒントやアイデアを募るカテゴリです。「活動のなかでわからないことができた」「他の団体でどうやってるの?」「助成事業情報が欲しい」など、みんなの知恵を借りたいときはここです!

#### カテゴリ3 みんなのえ〜る!

注目の活動情報、イベントボランティア募集などのカテゴリです。活動を通じての個人的な感想、意見、アイデアなど自由に書き込んでください!

#### はじめての方へ

このコンテンツは、中海・宍道湖・大山圏域仮想中間支援組織が、市民活動の情報交換、協働による市民連携のために開設し、同組織の構成メンバーであるNPOまちづくりビジネス支援ネットワークが、運営協力しているサイトです。

山陰両県の市民活動団体の活動内容の紹介や運営支援をめざしており、このサイトではそのための相互情報交換を行うことができます。

#### ◇免責事項

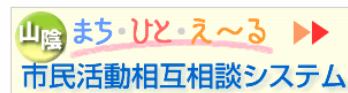
本サイトの内容につきましては万全を期しておりますが、提供情報がシステム等に起因する誤りを含んでないこと、すべての事柄を網羅していること、利用者にとって有用であること等を中海・宍道湖・大山圏域仮想中間支援組織、NPOまちづくりビジネス支援ネットワーク及び情報提供者が保証するものではありません。中海・宍道湖・大山圏域仮想中間支援組織、NPOまちづくりビジネス支援ネットワーク及び情報提供者は、利用者等が提供情報に関連して被った損害について一切の責任を負いません。

#### ◇著作権について

このコンテンツに掲載されている記事、写真、イラストなど文字・画像等のコンテンツの著作権は、コンテンツ提供者にあります。これらの情報は、「私的使用のための複製」や「引用」などの著作権法上認められた場合を除き、無断で転用・引用することできません。

#### ◇個人情報について

あなたがこのサイトを利用するにあたって入力した個人情報を、このサイト以外に流用、転用すること一切ありません。



自らが行う事業・活動への協力者の呼びかけや、団体相互の連携の提案等を行える

活動を行う上での困りごとや課題について投稿し、ヒントやアイデアを相互に意見交換できる

各種事業やイベントのお知らせを行うとともに、意見交換ができる

- 圏域内の団体同士では解決できない課題があった場合
- 全国の専門家のアドバイスがほしい

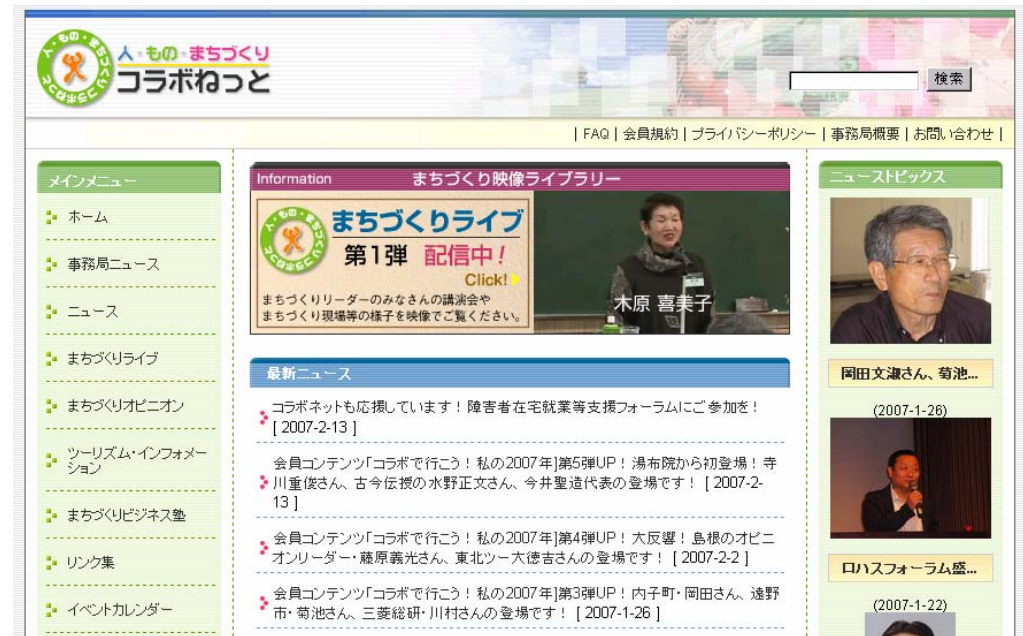
紹介

### ■ 書き込みの例（講演会のお知らせ）

【表示欄に戻る】 全部 1 - 最新50

|     |                                                                               |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | 2/23AM NPO活動資金を中心テーマとした講演会・交流会のお知らせ                                           |
| ゲスト | 仮想中間支援組織事務局スタッフ 吉戸 2007-2-9 18:19 MAIL [返信] [編集]                              |
|     | みなさん、こんばんは。                                                                   |
|     | 手前味噌で申し訳ありませんが、2/23に、仮想中間支援組織で開催いたします、講演会・交流会について、ご案内いたします。みなさんご参加をお待ちしております。 |
|     | ■日時:平成19年2月23日(金) 10:00~12:00                                                 |
|     | ■場所:松江テルサ4階 中会議室 (松江市朝日町478-18(JR松江駅前))                                       |
|     | ■次第:                                                                          |
|     | ◆講演会 /10:00~11:20                                                             |
|     | ◆交流会 /11:30~12:00                                                             |
|     | ・講師:岩間 誠氏 (NPO法人ぎふNPOセンター専務理事)                                                |
|     | ・演題: 中海・宍道湖・大山圏域の広域連携と地域振興をめざしてー「ぎふNPOまつらつファン」にみる 主体の連携のあり方ー                  |
|     | ・内容: 「NPO法人ぎふNPOセンター」の活動内容、 「ぎふNPOまつらつファン」の意義など、 中間支援組織の方向性やあり方について           |
|     | ■事前申し込み制 ※参加ご希望の方は、以下まで事前にお申し込みください。                                          |
|     | 「お申し込み・お問い合わせ」                                                                |

### ■ 専門性の高い相談には、全国規模の相談・参考サイトを紹介



## 圏域内全 NPO に対するアンケート調査結果

### ■ 調査概要

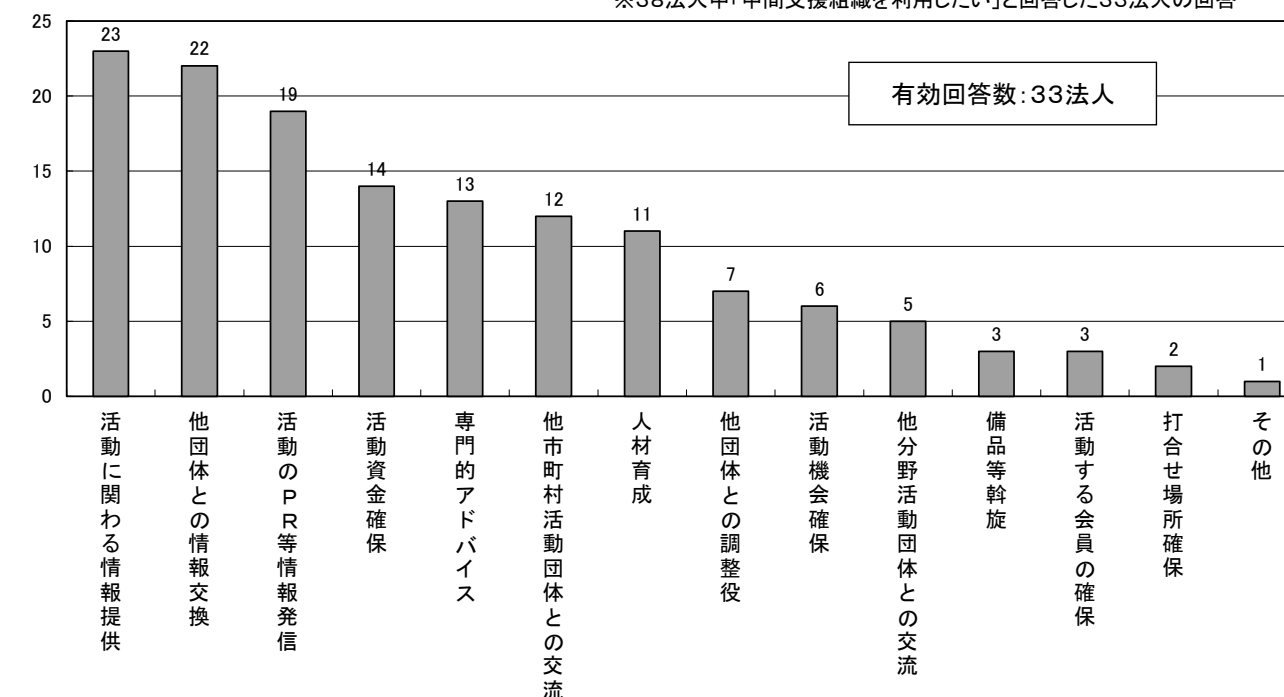
- 調査対象：中海・宍道湖・大山圏域内に主たる事務所が登録されているNPO法人全て
- 対象数：131法人（内2法人は連絡つかず）
- 調査方法：郵送による配布・回収
- 調査期間：平成19年1月31日～2月9日
- 有効回収数：38法人 回収率：29.5%（38法人／129法人）

### ■ 調査結果の概要（特徴的な結果のみ抜粋）

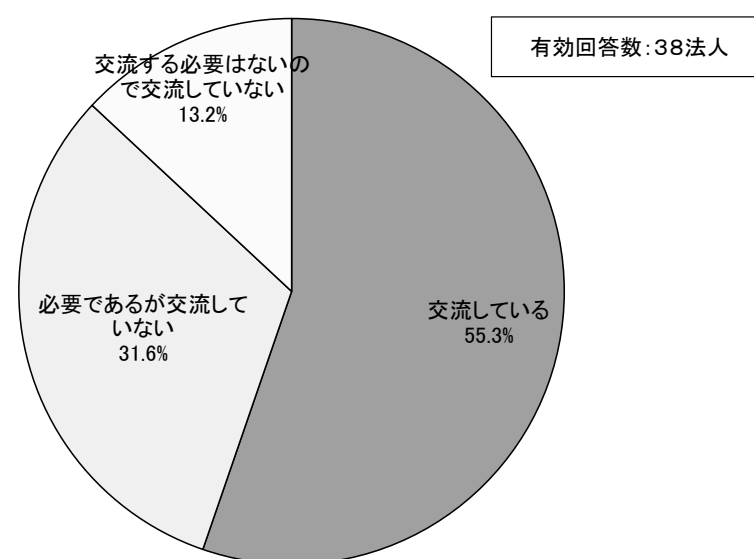
- 他のNPO法人と交流をしているNPO法人は55%（21法人）。活動分野が異なる同一市町村内のNPO法人と、「情報交換」「事業の共同実施」を中心に交流。
- 7割前後のNPO法人が、中間支援組織に対して「情報に関する支援」を期待。
- 中間支援組織との関わり方について、「事業の共同実施」を望む声が一番多い（32%）。他方、事務局スタッフとして関わりたいと言う声は少ない（5%）。

### 【中間支援組織に期待する役割】

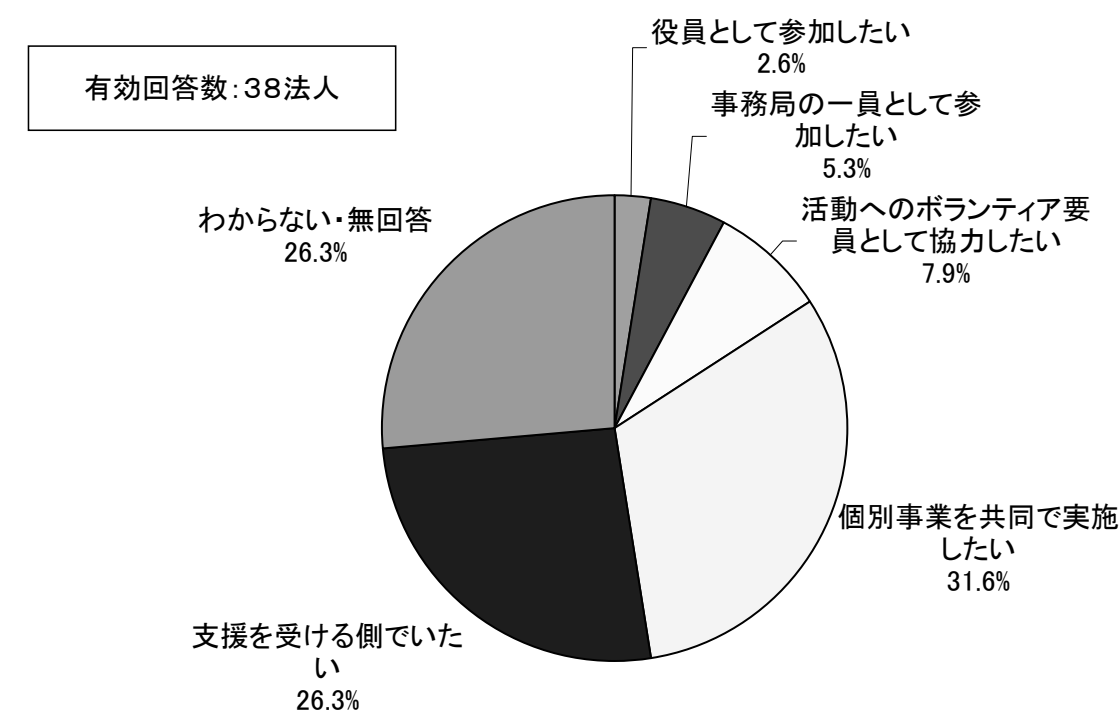
※38法人中「中間支援組織を利用したい」と回答した33法人の回答



### 【他のNPO法人との交流の有無】



### 【中間支援組織との関わり方】



■ 調査票と結果の整理

：回答者の多い選択肢、：着目する選択肢

問１）貴 NPO の母体となった組織の設立時期と、N P O法人格を取得した時期を記入してください。

○ 母体組織の設立時期：

|              | 回答者数 |
|--------------|------|
| 昭和           | 4    |
| 平成元年～５年      | 3    |
| 平成６年～10 年    | 5    |
| 平成 11 年～15 年 | 8    |
| 平成 16 年以降    | 11   |
| 無回答          | 7    |
| 計            | 38   |

○ N P O法人格取得時期：

|           | 回答者数 |
|-----------|------|
| 平成 13 年以前 | 4    |
| 平成 14 年   | 1    |
| 平成 15 年   | 2    |
| 平成 16 年   | 13   |
| 平成 17 年   | 9    |
| 平成 18 年   | 9    |
| 計         | 38   |

問２）貴 NPO の所在地を記入してください。

|      |     |     |     |     |     |     |     |    |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 市町村名 | 米子市 | 境港市 | 松江市 | 出雲市 | 安来市 | 雲南市 | 斐川町 | 計  |
| 回答者数 | 8   | 1   | 10  | 12  | 2   | 1   | 4   | 38 |

問３）貴 NPO の主な活動場所はどこですか。最もあてはまるものに○印をつけてください。

|                    | 回答者数 |
|--------------------|------|
| １．所在地と同じ市町村の一部地域   | 8    |
| ２．所在地と同じ市町村の全域     | 6    |
| ３．所在地と同じ市町村及び周辺市町村 | 10   |
| ４．所在地と同じ県内全域       | 10   |
| ５．鳥取県と島根県          | 2    |
| ６．その他              | 2    |
| 計                  | 38   |

問４）貴 NPO の規模を記入してください。

○日常的に活動するスタッフ数

|       | 回答者数   |
|-------|--------|
| １人    | 6      |
| ～３人   | 12     |
| ～５人   | 5      |
| ～10 人 | 5      |
| ～15 人 | 6      |
| 67 人  | 2      |
| 150 人 | 1      |
| 無回答   | 1      |
| 計     | 38     |
| 平均    | 11.8 人 |

○１週間あたりの平均延べ活動時間

|           | 回答者数      |
|-----------|-----------|
| ～10 時間・人  | 6         |
| ～20 時間・人  | 8         |
| ～30 時間・人  | 2         |
| ～50 時間・人  | 6         |
| ～100 時間・人 | 4         |
| ～300 時間・人 | 6         |
| 300 時間・人超 | 4         |
| 無回答       | 2         |
| 計         | 38        |
| 平均        | 84.4 時間・人 |

○平成 18 年度予算額

|           | 回答者数     |
|-----------|----------|
| ～100 万円   | 7        |
| ～500 万円   | 9        |
| ～1,000 万円 | 6        |
| ～5,000 万円 | 9        |
| 5,000 万円超 | 2        |
| 無回答       | 5        |
| 計         | 38       |
| 平均        | 1,476 万円 |

問５－１）貴 NPO は主にどんな分野の活動をされていますか。該当する活動すべてに○印をつけてください。

|                                           | 回答者数 |
|-------------------------------------------|------|
| １．保健、医療又は福祉の増進                            | 19   |
| ２．社会教育の推進                                 | 7    |
| ３．まちづくりの推進                                | 17   |
| ４．学術、文化、芸術又はスポーツの振興                       | 10   |
| ５．環境の保全                                   | 11   |
| ６．災害救助活動                                  | 3    |
| ７．地域安全活動                                  | 1    |
| ８．人権の擁護又は平和の推進                            | 3    |
| ９．国際協力活動                                  | 2    |
| 10．男女共同参画社会の形成の推進                         | 1    |
| 11．子どもの健全育成                               | 16   |
| 12．情報化社会の発展                               | 3    |
| 13．科学技術の振興                                | 0    |
| 14．経済活動の活性化                               | 7    |
| 15．職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援                    | 5    |
| 16．消費者の保護                                 | 0    |
| 17．前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言または援助の活動 | 11   |
| 計                                         | 38   |

問5－2）前問で「17」に○印をつけた方に伺います。他の団体への連絡、助言または援助の具体的活動を教えて下さい。該当する活動すべてに○印をつけてください。

|                        | 回答者数 |                | 回答者数 |
|------------------------|------|----------------|------|
| 1．活動に関する情報提供           | 7    | 7．活動資金の確保      | 1    |
| 2．活動のPR等情報発信           | 5    | 8．活動機会の提供      | 3    |
| 3．活動する会員の確保            | 1    | 9．備品等の斡旋       | 0    |
| 4．人材育成（勉強会等の開催）        | 5    | 10．打ち合わせ場所の確保  | 1    |
| 5．交流会の開催               | 4    | 11．様々な活動主体との調整 | 4    |
| 6．活動に関する各種相談への専門的アドバイス | 4    | 12．その他         | 0    |

問6－1）貴NPOは他NPOと交流（いわゆる横の連携）をしていますか。該当するものに○印をつけてください。

|                       | 回答者数 |
|-----------------------|------|
| 1．交流している              | 21   |
| 2．必要であるが、交流していない      | 12   |
| 3．交流する必要はないので、交流していない | 5    |
| 無回答                   | 0    |
| 計                     | 38   |

問6－2）交流の具体的内容を教えて下さい。該当する交流内容すべてに○印をつけ、あわせて「定期・不定期の別」「交流相手の所在地・活動分野」について○印をつけて下さい。

| 交流内容      |        | 情報交換、<br>連絡会議 | 勉強会 | 事業の共同<br>実施 | その他 | 交流して<br>いるNPO<br>法人数 |
|-----------|--------|---------------|-----|-------------|-----|----------------------|
| 定期・不定期    | 定期的に実施 | 7             | 3   | 5           | 0   |                      |
|           | 不定期に実施 | 10            | 7   | 8           | 1   |                      |
|           | 計      | 17            | 10  | 13          | 1   |                      |
| 交流している法人数 |        |               |     |             |     | 21                   |

| 交流内容               |                | 情報交換、<br>連絡会議 | 勉強会 | 事業の共同<br>実施 | その他 | 交流して<br>いるNPO<br>法人数 |
|--------------------|----------------|---------------|-----|-------------|-----|----------------------|
| 交流先の所在市<br>町村・活動分野 | 所在市町村が同じ       | 12            | 5   | 7           | 1   |                      |
|                    | 活動分野が同じ        | 5             | 1   | 2           | 0   |                      |
|                    | 所在市町村・活動分野とも同じ | 3             | 1   | 2           | 0   |                      |
|                    | 所在市町村・活動分野とも違う | 5             | 3   | 3           | 0   |                      |
| 交流しているNPO法人数       |                |               |     |             |     | 21                   |

問7－1）期待する支援を行ってくれる中間支援組織が設立された場合、貴NPOはどの程度利用したいと思いますか。該当するものに○印をつけてください。

|              | 回答者数 |
|--------------|------|
| 1．週に数回程度     | 2    |
| 2．月に数回程度     | 8    |
| 3．年に数回程度     | 20   |
| 4．数年に1回程度    | 3    |
| 5．利用したいと思わない | 1    |
| 無回答          | 4    |
| 計            | 38   |

問7－2）貴NPOが活動をする上で、中間支援組織にどのような支援を期待しますか。期待する支援すべてに○印をつけてください。

|                        | 回答者数 |
|------------------------|------|
| 1．活動に関わる情報提供           | 23   |
| 2．活動のPR等情報発信           | 19   |
| 3．他団体との情報交換            | 22   |
| 4．活動する会員の確保            | 3    |
| 5．人材育成（勉強会等の開催）        | 11   |
| 6．活動に関する各種相談への専門的アドバイス | 13   |
| 7．他分野で活動する団体との交流       | 5    |

|                   | 回答者数 |
|-------------------|------|
| 8．他市町村で活動する団体との交流 | 12   |
| 9．活動資金の確保         | 14   |
| 10．活動機会の確保        | 6    |
| 11．備品等の斡旋         | 3    |
| 12．打ち合わせ場所の確保     | 2    |
| 13．様々な活動主体との調整役   | 7    |
| 14．その他            | 1    |
| 計                 | 33   |

島根県には中間支援組織として「しまね NPO 活動支援センター」（以下「センター」と呼びます。）があります（日本 NPO センター調べ）。

問 8－1）貴 NPO は、センターがあることを知っていましたか。いずれかに○印をつけてください。

|           |           |
|-----------|-----------|
|           | 島根県所在 NPO |
| 1. 知っていた  | 26        |
| 2. 知らなかった | 3         |
| 計         | 29        |

問 8－2）貴 NPO は、センター（場所）をどの程度の頻度で利用していますか。該当するものに 1 つ○印をつけてください。

|                    |           |
|--------------------|-----------|
|                    | 島根県所在 NPO |
| 1. 週に何度か利用している     | 0         |
| 2. 月に何度か利用している     | 2         |
| 3. 年に何度か利用している     | 5         |
| 4. 過去に何度か利用したことがある | 9         |
| 5. 利用したことはない       | 9         |
| 無回答                | 4         |
| 計                  | 29        |

問 8－3）センター（組織）の支援を受けたことがありますか。受けたことのある支援すべてに○印をつけてください。

|                                                                            |      |
|----------------------------------------------------------------------------|------|
|                                                                            | 回答者数 |
| 1. 交流・連携事業（イベントに参加したなど）                                                    | 4    |
| 2. 情報収集・提供事業（図書の利用、情報誌を見た）                                                 | 10   |
| 3. 相談・コーディネート事業（専門相談を受けた、アドバイザーを派遣してもらった）                                  | 6    |
| 4. 活動支援・助成事業（NPO 法人マネジメント支援事業、県民活動顕彰事業など）                                  | 7    |
| 5. 人材育成事業（NPO 法人入門講座、NPO 実務者研修）                                            | 5    |
| 6. 普及・啓発事業（みんなで選ぶ NPO 活動リーディング事業、NPO ふれあいフォーラムの開催、NPO 協働企画作成研修事業、ふるさとづくり賞） | 4    |
| 7. 調査・研究事業（中山間地域 NPO 活動展開調査）                                               | 0    |
| 8. 中国労金 NPO 寄附システム配分事業                                                     | 0    |
| 9. 利用・サービスの提供（しまね NPO 活動支援センター、「ボランティア活動等団体名簿」検索サイト）                       | 1    |
| 10. その他                                                                    | 1    |
| 計                                                                          | 29   |

問 9）中間支援組織が設立される場合、貴 NPO はどのような関わり方を希望しますか。該当するもの 1 つに○印をつけてください。

|                                      |      |
|--------------------------------------|------|
|                                      | 回答者数 |
| 1. 役員など、組織の運営を仕切る側として関わりたい           | 1    |
| 2. 事務局の一員として関わりたい                    | 2    |
| 3. 中間支援組織が行う活動への協力者・ボランティア要員として関わりたい | 3    |
| 4. 個別事業を共同で実施したい                     | 12   |
| 5. 支援を受ける側でいたい                       | 10   |
| 6. 関わりたくない（参加したくない）                  | 0    |
| 7. わからない                             | 9    |
| 無回答                                  | 1    |
| 計                                    | 38   |

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

今後の本圏域の地域振興や市民活動の活発化に向けて、NPO 同士等で連携して検討・取り組まれたいとお考えがありましたら、ご連絡をとらせていただきたいと思います。

ご協力いただける場合は、貴 NPO のお名前・ご連絡先・ご担当者の氏名をお聞かせください。

○ 「今後、NPO 同士等の連携に向けてご協力いただける場合には連絡先を記載してください」と呼びかけたところ、38 団体中 30 団体 が連絡先を記入。

## 各種団体ヒアリングの個票

## ロマンチック街道協会（ドイツ・南部）

ホームページ <http://www.romantischestrassen.de/index.php>

（運営：ロマンチック街道協会）

事務所 ディンケルスビュール

## ○基本事項

|         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 地域の基本事項 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロマンチック街道はドイツ南部のバイエルン州を縦断し、ヴェルツブルクからフュッセンを結ぶ 350 km の街道。</li> <li>・ドイツでは 100 あまりの街道が位置付けられているが、その中でもロマンチック街道はドイツ政府も中心となって観光招致活動を行ったことから日本において有名である（歴史的な意味合いは小さいと言われる）。</li> <li>・鉄道駅のない小さな町もあるため、ドイチェ・ツーリング社の街道バスで巡るのが一般的。</li> <li>・27 都市が関係して事業を実施。</li> </ul> |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## ○組織、活動状況等

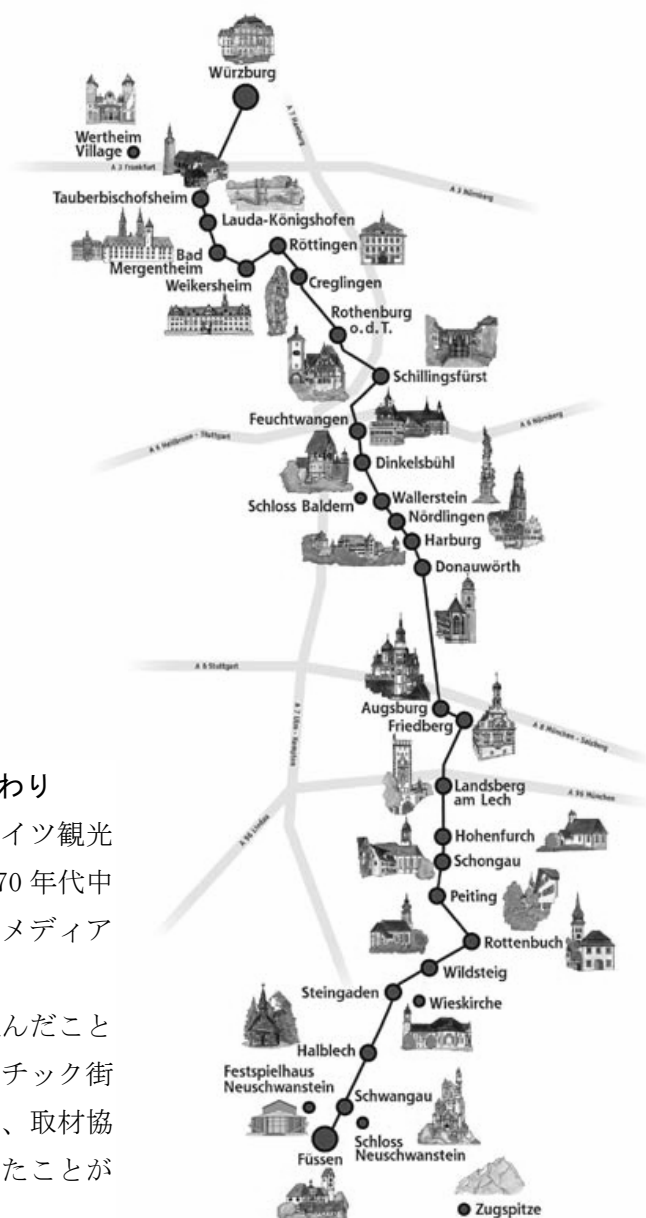
|            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 設立のきっかけ、目的 | <p>○設立のきっかけ等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ドイツでは第二次世界大戦後、都市の復元に力を入れ、街並みの再生を行った。その成果を世界の人に見てもらおうという思いの下、観光業者が中心となって 1947 年に設立した。</li> </ul> <p>○事業目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・街や景観を見せるだけでなく、街の歴史や成り立ちの話も含めて、訪れた人々に伝えていくことを目的としている。</li> </ul> <p>○具体事業の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページやパンフレットによる観光情報等の発信</li> <li>・街道ツアーや町ごとのツアーパッケージの案内</li> <li>・ホテル、キャンプ地の紹介</li> <li>・沿道各地の野外劇場イベントの案内</li> <li>・ゴルフカップ</li> <li>・サイクルルートの紹介（観光業者の事業）</li> <li>・ヨーロッパバス（フランクフルト～ロマンチック街道～ミュンヘン：約 13 時間のコース）の運行（バス会社の事業）</li> </ul> |
| 組織体系       | <p>○運営体制</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局は職員 4 名（専従）</li> <li>・ゼネラルマネージャーを中心に事業を展開している<br/>ゼネラルマネージャー：Jürgen Wünschenmeyer 氏</li> <li>・各種事業を実施する際には、各都市の観光協会等と協力している。</li> <li>・年に 1 回総会を行い、事業方針を決定している。</li> </ul> <p>○協会員（パンフレット記載）</p> <p>[顧問]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バイエルン観光マーケティング会社</li> <li>・アッパーバイエルン観光協会</li> <li>・社団法人バイエルン経済団体</li> <li>・フランケン観光協会</li> <li>・シュヴァーベン観光協会</li> </ul>                                                                                                                                           |

|          |                                                                                                                                                                                                  |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・バーデン・ヴュルツブルグ観光協会<br/>[賛助会員]</li> <li>・ホテル事業者</li> <li>・ハンスマーカー旅行保険会社</li> <li>・ミュンヘン空港<br/>[パートナー]</li> <li>・ドイツ観光局</li> <li>・日本ロマンティック街道協会 他</li> </ul> |
| 事業規模     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な規模については回答なし。<br/>(自治体からの補助金は受けておらず、独立採算で展開している)</li> </ul>                                                                                           |
| 課題、今後の方針 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・350 kmの長い距離にわたっているので、統一を図っていくことが重要と考えている。</li> <li>・やりたいことは説明できないほどたくさんある。</li> </ul>                                                                    |

## ■ ロマンチック街道の位置と観光名所



ほぼバイエルン州に含まれる



## 参考 ロマンチック街道と日本との関わり

日本においてロマンチック街道がドイツ観光の名所として位置付けられたのは、1970年代中ごろにドイツ政府観光局が行った日本メディアの招致事業によるとされている。

特に、NHK、「ノンノ」が特集を組んだことが大きな効果といわれている。ロマンチック街道協会が市町村の観光協会と連携して、取材協力などを行い、PR活動を展開してきたことが実を結んだとされている。

(ローテンブルク市観光局長講演を整理)

## カンブリア・ツーリストボード[カンブリア観光局]（イギリス・イングランド カンブリア州）

ホームページ <http://www.golakes.co.uk/enjoyengland/>（運営：カンブリア観光局）

事務所 ステイベリー

※その他、日本への観光情報の提供の充実とサービス向上のため、英国湖水地方ジャパンフォーラムが組織されている。

### ○基本事項

|         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 地域の基本事項 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・イングランド北西部のカンブリア州（面積約 6,800k m<sup>2</sup>）に含まれる、16 の湖と 500 もの小さな池が点在する地域（カンブリア州は 6 つの圏域に分けられ、湖水地方はそのうち 4 つの圏域にまたがっている）。</li> <li>・ピーターラビット、ウィリアム・ワーズワースなどで日本人観光客の多い観光地</li> <li>・国立公園に指定されており、4 分の 1 をナショナルトラストが所有し、維持・管理している。</li> <li>・20 あまりの都市が関連。</li> <li>・イギリスでは観光案内所は地方自治体が運営している。</li> </ul> |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

### ○組織、活動状況等

|            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 設立のきっかけ、目的 | <p>○設立のきっかけ等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界規模の観光地として展開していくため、企業、地方自治体と英国政府観光庁の協力によって 1972 年に設立した。（営利企業ではない（private company limited by guarantee（非公開有限責任保障会社）））</li> </ul> <p>○事業目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページや観光案内所を通じて、観光名所やツアーなどに関するアドバイスを広範囲にわたって提供する。</li> <li>・また、そのためのマーケティング調査も実施している。</li> </ul> <p>○具体事業の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マーケティング（キャンペーン、フードフェスティバル、庭園や建築遺産の PR、アウトドアイベント、海外キャンペーン、出版等）</li> <li>・観光サービス（技術改善、顧客サービス、連携会議等）</li> <li>・観光客への対応（農場ツアー企画、会員組織や自治体への観光支援等）</li> </ul> |
| 組織体系       | <p>○運営体制</p> <pre> graph TD     Board[Board of Directors] --- AR[Audit and Remuneration Committee]     Board --- CM[Commercial Members' Committee]     Board --- Main[ ]     Main --- Marketing     Main --- IS[Industry Services]     Main --- Development     CM --- CMG[Commercial Members' Group]     </pre> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光産業、地方自治体、北西地域広域行政事務組合、英国政府観光庁等 23 名による取締役会、レジャー産業、ホテル業、交通事業者等 21 名による商業委員会等によって運営</li> <li>・自主事業は 47 名の有給職員によって運営（ボランティア無し）<br/>（行政関係の役員等の割合は減ってきているが、重要なポストを担っている）</li> </ul>                        |

|          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業規模     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・約 433 万ポンド（約 10 億円）2006 年</li> <li>・収入内訳：事業収入約 52%、北西地域広域行政事務組合約 41%、州議会約 2%、地方自治体約 0.5%、会費約 4.5%（約 2,500 会員（事業規模によって会費が異なる）</li> <li>・支出内訳：マーケティング約 48%、観光サービス約 4%、観光客への対応約 23%、職員人件費約 25%</li> </ul>                                                                                       |
| 観光客との関わり | <p>○観光客への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コールセンターに 3 人の職員を配置し、宿泊施設の案内、ツアー等の紹介を行っている。</li> <li>・また、ホームページ上には基準を満たした宿泊施設が多数登録されており、オンラインによる空室状況の確認や予約もできる。</li> <li>・担当職員に対し研修を行って、サービス向上に努めている。</li> </ul> <p>○観光産業の質の向上（表彰制度）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年、優秀な観光業者を表彰し、会員全体でサービス向上に努めている。</li> </ul> |
| 課題、今後の方針 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界規模の観光地として展開していくため、訪れてくる観光客の年齢層にあわせた、好まれるサービスを提供していくことが必要と考えている。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                 |

カンブリア観光局ホームページ及び電子メールでのヒアリングによる

## ■ 湖水地方の位置



資料：カンブリア州議会ホームページ

## 参考 英国湖水地方ジャパンフォーラム

ピーターラビット、ワーズワース等に関連する観光地として、湖水地方は日本人に人気が高いことから、日本市場の拡大を目指す観光事業者とカンブリア観光局が連携して、英国湖水地方ジャパンフォーラムを設立し、活動している。

### ○主な活動

- ・日本語版ホームページの設立
- ・季節ごとの魅力の発信、湖水地方の話題紹介、私の湖水地方自慢（インタビュー掲載、湖水地方味覚、庭園案内、旅情報一覧（宿泊施設等）、関連旅行会社紹介
- ・日本におけるPRイベントの展開 等

### ○参加団体

#### [観光施設]

- ・アボット・ホール美術館
- ・ブラックウェル館アーツ&クラフツハウス
- ・ダヴ・コテージ&ワーズワース博物館
- ・ライダル・マウント&ガーデンズ
- ・ワーズワース・ハウス
- ・ホーカー・ホール&ガーデンズ
- ・ビクトリクス・ポター・ギャラリー&ヒル・トップ
- ・ビアトリクス・ポターの世界

#### [交通・ツアー事業者]

- ・アルズウォーター蒸気船
- ・レイヴェングラス&エスクデール鉄道
- ・ウィンダミア湖クルーズ
- ・マウンテンゴート
- ・パーク・ツアーズ&トラベル

#### [ホテル事業者]

- ・イングリッシュ・レイクスホテルズ
- ・リンデス・ハウ・カントリー・ハウス・ホテル

#### [観光局等]

- ・カンブリア ツーリストボード
- ・サウス・レイクランド・ディストリクト・カウンシル
- ・レイク・ホスピタリティー・アソシエーション
- ・英国政府観光庁
- ・ナショナルトラスト



資料：湖水地方観光情報サイト（日本語版）

## 1. 組織概要

|                        |                                 |
|------------------------|---------------------------------|
| ヒアリング協力者               | 専務理事 岩間氏                        |
| 事務所所在地                 | 岐阜市内                            |
| 運営スタッフ<br>(ぎふ NPO プラザ) | 専従は 7 人<br>(常務理事、事務局長、スタッフ 5 人) |
| 会員数                    | NPO や任意団体など約 130 団体             |
| 活動対象地域                 | 岐阜県内                            |

## 2. 組織運営の状況

|            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 組織体系       | <p>○理事会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理事 10 人 (理事長、専務理事、常務理事、監事、他。)</li> <li>・NGO (国際協力) 関係者や大学教授、会社員等が理事になっている。</li> </ul> <p>○事務局は 7 人専従 (常務理事、事務局長、事務局スタッフ 5 人)<br/>(専務理事は非常勤)</p> <p>○会員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO や任意団体など約 130 団体が参加 (県内の全ての NPO (420 ある) が参加しているわけではない。)</li> </ul>                                                                                     |
| 設立のきっかけ、目的 | <p>○2000 年度 岐阜県が開催した NPO 懇談会のメンバーで任意団体「ぎふ NPO センター」設立し、運営委員会を年間 27 回開催。</p> <p>○2001, 2 年度 毎年度、総会 1 回と理事会約 15 回ずつ開催</p> <p>○2003 年 11 月 特定非営利活動法人ぎふ NPO センター設立。以降、NPO の活動拠点の設置を提案してきた。</p> <p>○2006 年 4 月 「ぎふ NPO プラザ」運営スタート (県が設置し、NPO が運営委託)</p>                                                                                                                                                                |
| 財政規模       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・県からのセンター運営委託費 (約 2,000 万円) の他、県・市町村からの委託費、会費、寄付による。</li> <li>・寄付は認定 NPO 法人でないこともあり、ほとんど得られない。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 組織運営の仕方    | <p>○ (総会) 年 1 回開催</p> <p>○ (理事会) 2, 3 ヶ月に 1 回開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長年、話し合ってきたメンバーであり、意思疎通はできている。</li> </ul> <p>○ (事務局会議) 週に 1 回開催 (専務理事・スタッフ参加)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務内容については事務局会議で決定。</li> <li>・重要事項については、事務局会議で原案を作り、理事会で決定。</li> </ul> <p>※組織運営上の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次世代の運営者を育成していくことが重要。特に市町村レベルの中間支援組織では大きな課題になりつつある。</li> </ul> |

### 3. 事業・活動内容

|         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業概要    | <p>○相談・研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ NPO 法人設立の相談</li> <li>・ NPO 法人の運営についての相談</li> <li>・ 専門相談 (NPO の活動・運営、会計・税務相談)</li> <li>・ NPO 施策推進専門職派遣コーディネート</li> <li>・ 「ぎふ NPO プラザ」運営受託</li> <li>・ コミュニティ放送 FM わっち内番組「NPO バスケット」での NPO の紹介・情報提供</li> </ul> <p>○市民事業起こし</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公益信託ぎふ NPO はつらつファンドの事務局<br/> <u>ファンドの概要については後述</u></li> </ul> <p>○ (ヒ・モ・ハ) の提供情報の提供等 (ぎふ NPO プラザとは別)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会議・作業スペースやコピー機の提供</li> <li>・ NPO 情報サロンの運営</li> <li>・ メーリングリストやホームページでの情報提供</li> </ul> <p>以上、パンフレットに基づき作成 (一部編集)</p> |
| 今後の事業展望 | <p>○県内中間支援組織との連携の強化</p> <p>○企業との連携の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ センターやファンドへの寄付だけではなく、パートナーとして協働事業を展開してもらいながら連携を強めていきたい。</li> </ul> <p>○はつらつファンドの再構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資金の新たな受け皿として税の控除を受けられる認定 NPO 法人を設置し、はつらつファンドの運営を行うことを検討していきたい。</li> </ul> <p>○NPO の企画・財政面の支援の強化</p>                                                                                                                                                                                                                                                                            |

### 4. 連携・役割分担

|                                    |                                                                                                                                                                                                   |
|------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 他の NPO 等との連携など                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県内の市町村レベルの中間支援組織や個別 NPO に対して、相談や研修、情報発信等、積極的に行っている。</li> </ul>                                                                                           |
| 自治体との連携など                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県からセンターの運営を委託されている。信頼関係があり、委託仕様書を作る段階から任されている。</li> <li>・ 自治体担当者によって自治体の関わり方が代わってしまうが、いざというときは知事に提言するなど対応して自治体を動かしていきたい。</li> </ul>                      |
| 他の NPO、自治体、地域外の団体などとの連携を進めていく上での課題 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自治体の委託契約については、事業の自由度と展開しやすさを考えると、乙が甲に従うといった形の請負契約ではなくパートナーシップに基づく契約としたいので、県の NPO 協働事業推進ガイドラインを改訂していきたい。</li> <li>・ 飛騨・高山地域とは距離があるため、連携を行いつらい。</li> </ul> |

## 5. 中間支援組織について

|                      |                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                |
|----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 中間支援組織として<br>求められる能力 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各 NPO では政策提案ができないため、活動しやすい環境整備に向けた提案を率先して行う必要がある。(県や市町村に対してのみならず、他県の NPO センターと連携して国に提案するなど含む。)</li> <li>・また、前に出すぎず、後方支援に徹することも重要である。</li> </ul> |                                                                                                                                                                                                                                                                |
| アドバイ<br>ス等           | 組織形態                                                                                                                                                                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政が意思決定機関に入っていると民間の力が発揮しづらいため、バックアップに回るべき。(県内に 14 の中間支援組織があるが、行政が立ち上げたものはうまくいかない傾向がある。地元の団体が育っていかなければならない。(指定管理者制度の活用))</li> <li>・NPO だけで立ち上げる方法はあるだろう。その場合、企業や自治体には賛助会員として入ってもらったり、多くの NPO の参加を促すことが重要だろう。</li> </ul> |
|                      | 組織づく<br>り、運営<br>に関する<br>事項                                                                                                                                                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO は連携しないとよい事業ができない。多くの主体の参加呼びかけが必要。(いび NPO 法人連絡協議会では揖斐郡 3 町内の全 NPO 法人 (15 団体) が参加している)</li> </ul>                                                                                                                    |

## 「公益信託ぎふ NP0 はつらつファンド」の概要

- 委 託 者 岐阜県
- 受 託 者 三菱 UFJ 信託銀行（信託代理店：十六銀行）
- 受 益 者 NPO法人及びNPO法人設立を目指す団体
- 事 務 局 NPO法人ぎふNPOセンター
- 趣 旨 福祉、環境、まちづくりなどの分野におけるボランティア活動など、県民の社会参加活動の担い手となるNPO法人の設立と、「はつらつ」とした自立・発展の支援を目的に、県民自らがNPOを支援する仕組みとして、公益信託方式によるファンドを創設し助成を行うもの（募集要項より抜粋）
- 設立時期 平成17年7月
- 運 用 平成17年度後期より（まずは3ヵ年度間の運用）
- 資 金 源 ・ 県の出捐金 ： 年間約1億円  
・ 寄付金 ： 年間約200万円
- 助成内容 NPOの段階・目的に応じて6つのメニューを用意
  - ①法人設立前事業助成  
NPO法人設立のために準備として実施する事業に必要な費用の助成
  - ②立ち上げ時備品購入助成  
NPO法人立ち上げ時の備品購入に必要な費用の助成
  - ③立ち上げ時期事業助成  
設立後1年以内のNPO法人が実施する公益的な事業に必要な費用の助成
  - ④展開期事業助成  
NPO法人が、活動の充実や強化を図るために実施しようとする公益的な事業に必要な費用の助成
  - ⑤つなぎ資金利子助成  
NPO法人が、補助事業や委託事業を行う資金として金融機関から借り入れた借入金の利子に対する助成
  - ⑥人材育成事業助成  
複数のNPO法人が連携して実施する、運営や事業実施に必要な知識や技術、ノウハウなどを修得するための研修会や講座に必要な費用の助成

■ 各助成メニューの応募資格等

|                         | I.法人設立前の助成                                                                                                                                                    | II.法人立ち上げ時期の助成 |                                           | III.展開時期の助成                                                |                                         | IV.人材育成事業の助成                       |
|-------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|-------------------------------------------|------------------------------------------------------------|-----------------------------------------|------------------------------------|
|                         | ①法人設立前事業助成                                                                                                                                                    | ②立ち上げ時備品購入助成   | ③立ち上げ時期事業助成                               | ④展開期事業助成                                                   | ⑤つなぎ資金利子助成                              | ⑥人材育成事業助成                          |
| 応募資格<br>※③～⑥は、内閣府認証法人も可 | 助成対象期間内に、法人設立の認証申請をする予定の団体                                                                                                                                    | 法人設立の認証を受けた法人  | 法人設立後1年以内（事業申請の応募締切日時点）の、岐阜県内に主たる事務所がある法人 | 岐阜県内に主たる事務所がある法人<br>（ただし、事業助成を3年続けて受けた法人は、その後、1年を経過していること） | 岐阜県内に主たる事務所がある法人                        | ・岐阜県内に主たる事務所がある法人<br>・当該事業の代表となる法人 |
| 助成金額<br>※千円未満切り捨て       | 上限100万円                                                                                                                                                       | 上限50万円         | 上限100万円                                   | 上限500万円<br>（ただし、実施期間が3年の場合でも、1,000万円を上限とする）                | 上限は日本銀行が公表する短期プライムレートの最頻値（申請日現在）+1.5%まで | 上限20万円                             |
| 助成率                     | 10分の10以内                                                                                                                                                      | 10分の9以内        |                                           | 5分の4以内                                                     | 10分の10以内                                |                                    |
| 助成回数                    | 1法人1回                                                                                                                                                         |                |                                           | 1事業3年まで                                                    | 制限なし                                    | 制限なし                               |
| 審査方法                    | 公益信託ぎふNPOはつらつファンド運営委員会にて審査し、受託者（三菱UFJ信託銀行）が助成先および助成金額を決定します。<br>※「展開期事業助成」については書類審査後、プレゼンテーションによる審査を実施します。また、そのほかの助成についても、選考にあたってヒアリングやプレゼンテーションを実施することがあります。 |                |                                           |                                                            |                                         |                                    |
| 応募方法                    | 所定の申請書に必要事項を記入し、応募期間内に下記のはつらつファンド事務局もしくは信託代理店まで提出してください。                                                                                                      |                |                                           |                                                            |                                         |                                    |

■ 各助成メニューの申請・助成実績（平成18年度後期分）

| 区分        |              | 申請状況     |             | 助成状況     |            |
|-----------|--------------|----------|-------------|----------|------------|
|           |              | 申請団体数（件） | 助成希望額（円）    | 採択団体数（件） | 助成決定額（円）   |
| 一般募集      | ①法人設立前事業助成   | 2        | 2,000,000   | 0        | 0          |
|           | ②立ち上げ時備品購入助成 | 39       | 16,650,000  | 37       | 15,650,000 |
|           | ③立ち上げ時期事業助成  | 20       | 17,190,000  | 8        | 5,574,000  |
|           | ④展開期事業助成     | 23       | 61,651,000  | 12       | 28,459,000 |
|           | ⑤つなぎ資金利子助成   | 1        | 18,000      | 1        | 18,000     |
|           | ⑥人材育成事業助成    | 5        | 1,000,000   | 3        | 600,000    |
| 子育て支援枠    | ①法人設立前事業助成   | 1        | 800,000     | 1        | 800,000    |
|           | ③立ち上げ時期事業助成  | 4        | 3,648,000   | 3        | 2,648,000  |
|           | ④展開期事業助成     | 11       | 27,093,000  | 6        | 13,555,000 |
| 子育て支援枠の合計 |              | 16       | 31,541,000  | 10       | 17,003,000 |
| 合 計       |              | 106      | 130,050,000 | 71       | 67,304,000 |

ホームページより

## ■ 説明会や審査の状況 （平成 17 年度後期の状況）

### 7 / 2 5 ~ 8 / 3 1 応募期間

先の「公益信託ぎふNPO基金」から規模も使いやすさもグンと拡大した「公益信託ぎふNPOはつらつファンド」。今回は記念すべき(!?) 第1回目の募集ということで、応募前からも非常に関心を持たれていたように感じました。

7月下旬から8月上旬にかけて、県内各地で説明会を開催し、多数の方にご参加いただきました。

お盆過ぎ頃から、電話や来訪による相談が日増しに多くなり、事務局にも慌ただしい空気が漂うように…。来訪される方が後を絶たないため、締切間際には予約制で相談を受け付け、担当スタッフ3人がフルに対応させていただきました。



7 / 2 3 説明会（岐阜会場）



8 / 4 説明会（高山会場）

### 8 / 3 1 締切

締切日の受付は午後5時で終了。ホッと一息つく間もなく、翌日には郵送による書類もどっと届いて、事務局内はファンド関係の書類で溢れかえっていました。

応募総数は延べ83団体となりました！ 締切後は、申請書・提出書類の確認や団体への連絡、審査用のコピー取り、運営委員会の準備…などの作業に追われました。

### 9 / 2 0 運営委員会

県民ふれあい会館にて、運営委員による審査が行われました。今回、展開期事業助成に関してはプレゼンテーションによる公開審査がレセプションルームにて実施され、書類審査を通過した24法人が対象となりました。1法人あたりの持ち時間は約10分。その中で発表と質疑応答が行われました。超過密スケジュールでしたが、皆さん工夫や趣向を凝らして発表され、事業にかける熱いおもいや意気込みがヒシヒシと伝わってくるようでした。

展開期事業助成以外の審査は別室にて、書類審査が行われました。

審査の結果、最終的に延べ65団体に対する助成が決定しました！



運営委員会の様子



プレゼンテーション会場



質疑応答

ホームページより

## ■ ヒアリングによる補足事項

|                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>ファンド設立の背景</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 知事選の際に、現知事の提示するマニフェストのうちNPO支援に関する事項として「ファンド、1億円」と打ち出してもらっていたことから、ファンドを創設することができた。</li> <li>・ 従前にNPO基金があったが、原資が少なく、メニューも2つ（立ち上げ時の備品助成と事業費助成）しかないこともあって毎年度4,5件程度の組織しか活用できず、使い勝手が悪かった。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                              |
| <b>ファンドの運用</b>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 果実はほとんどなく、県が出捐した額を毎年度使い切ってしまう状態。</li> <li>・ 県の出捐金が年間約1億円、寄付金が年間約200万円であり、非常にバランスが悪い状態であり、改善していかなければならない。</li> <li>・ 三菱UFJ信託銀行が受託し、十六銀行が信託代理している。県内では十六銀行と大垣共立銀行が切磋琢磨している状況であるため、両行間の連携は図られにくい。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                   |
| <b>ファンドのしくみ</b>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ NPOが段階に応じて助成を受けられるよう、段階ごとに6つの助成メニューを用意している。</li> <li>・ NPOの活動資金のうち、助成や委託には清算払いのことが多いことから、地元金融機関には運転資金を融資してほしい。NPOもそれを利用しやすいように、融資の際の利子をはつらつファンドが助成するしくみをつくってある。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                  |
| <b>NPOの状況</b>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 申請書を書く技術のないNPOも見られる状況であり、センター（ファンド事務局）として相談を受け、適宜アドバイスをしている。（審査は事務局が関与しない運営委員会で行うため、公平性・中立性が保たれており、支援できる。）</li> <li>・ 徐々に申請者の書類作成やプレゼンテーション、事業内容の質が上がってきていると感じられる。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                               |
| <b>今後の方向性</b>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 立ち上げ期の備品助成が上限50万円となっているが、額が多すぎる。こちらを減らして展開期の事業助成を増やしていきたい。</li> <li>・ ファンドについては、3年間実施した後に事業評価することを前提で、県は毎年度1億円程度を出捐している。先行きが不透明な中で各NPOの活動資金を調達していくことが重要であり、今度、企業との連携を強めていかなければならない。</li> <li>・ 具体的には、税の控除を受けられる認定NPOを立ち上げて企業からの寄付などを促すとともに、そちらにファンドを移行することも検討していきたい。</li> <li>・ 企業との連携にあたっては、単にお金を出してもらうだけではなく、パートナーシップ事業として展開していくことが重要である。</li> <li>・ 信用金庫ネットワークに対しても、資金面での連携について働きかけをしているところであり、興味深く聴いてもらっている。</li> </ul> |

## 1. 組織概要

|          |                                                                                    |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------|
| ヒアリング協力者 | 理事長 幸田氏 、 副理事長 井手口氏                                                                |
| 事務所所在地   | 東大阪市内                                                                              |
| 運営スタッフ   | 3 名                                                                                |
| 会員数      | 会員：理事のほか 3 名程度                                                                     |
| 活動対象地域   | ・東大阪市内をはじめ、運営スタッフが関係している地域（離れた地域同士であり、現在は広域連続性はないが、全国自治会連合会を通じて活動のネットワーク化を目指している。） |

## 2. 組織運営の状況

|            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 組織体系       | <p>○理事会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理事 8 名（理事長 1 名、副理事長 1 名、監事 1 名の他、地元議員、住職、大学教授など。）</li> </ul> <p>○事務局（特に組織を設けてはおらず、主に理事長・副理事長・もう一人の計 3 名で行動している）</p> <p>○会員 理事のほか 3 名程度（毎年度変わる）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当初は数十名いたが、減少している。</li> <li>・企業にも会員となってもらえるよう営業に行きたいが時間と人手が足りない。</li> <li>・イベント開催時のボランティア参加者は 20 人程度いる。</li> </ul>                                                                    |
| 設立のきっかけ、目的 | <p>○出版関係の仕事をする中で、自治会の人と話していた際、自治会を中心とした地域情報の共有やまちづくりを支援したいと思い、無料で自治会の歴史や活動内容を整理して発行してあげたことがきっかけ（2003 年 4 月発行）。</p> <p>○2004 年 4 月 「NPO 法人地域情報支援ネット」 設立</p>                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 財政規模       | <p>（個別事業について例として紹介）</p> <p>○尼崎市大庄地区連合自治会便利帳の作成事業（25,000 部）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業費約 1,000 万円</li> <li>・約 800 万円は企業からの広告費（原則 1 社 5 万円）として確保したが、残り運営経費などは NPO の持ち出し（他の事業から補填）となってしまう、実質活動もボランティアであった。</li> </ul> <p>○東大阪市自治協議会だより（年 2 回 21 万部発行）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業費約 260 万円</li> <li>・毎回、協賛広告費は 200 万円確保できるが NPO の活動経費が不足している。（その代わり、誌面の一部を NPO の活動 PR に活用させてもらっている。）</li> </ul> |
| 組織運営の仕方    | <p>○意思決定の方法（理事会）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営スタッフ間では十分に意思疎通できているため、特段、堅苦しい会議はせず、基本的に理事長等に意思決定を任せてもらっている。</li> <li>・イベントに応じて、住職や大学教授等のアドバイスや協力をもっている。</li> </ul> <p>○組織運営上の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人手と資金が不足している。</li> <li>・世代交代もいつかは必要だとは思いますが、今後、団塊世代が興味を持って入ってきてくれるのではないかと期待している。</li> </ul>                                                                                              |

### 3. 事業・活動内容

|               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業概要          | <ul style="list-style-type: none"> <li>○自治会に対する情報収集・発信 <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報誌（便利帳）や自治会ニュースの作成・発行</li> </ul> </li> <li>○防犯メール事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・警察署、消防署、消費生活センターの協力の下、携帯電話への不審者情報等の発信を実施（システム運営。携帯電話会社が携帯電話を提供してくれるなど協力があつた。）</li> </ul> </li> <li>○地域活性化に向けたイベントの実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・社寺と連携した各種イベントの企画立案、運営代行</li> </ul> </li> <li>○その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、「防犯・防災BOX”みまもりロボくん”」事業に注力している。</li> </ul> </li> </ul> <p>※自治会で「一戸一灯運動」をしていたが、話し合う中で、自動販売機について「いつも明るい一方で、ゴミが多くて見苦しいので何とかしたい」と意見がまとまり、自動販売機ベンダー等と協力して、自動販売機に防犯カメラやパトライト、情報提供モニター等を盛り込んだ”みまもりロボくん”を開発。数地区で設置・運営している。</p> |
| 今後の事業展望       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業拡大にあたって、NPO等のネットワーク化を考えている。</li> <li>・企業の広告も含めた形で、運営費を確保しながら、地域情報の共有を促して行きたい。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 事業展開時の関係者との連携 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元企業や商店街などから、広告費として活動費用を調達している。地元企業も、生活環境や住みよい地域づくりが社員やその家族のためになるとの話をすると協力してもらえる。</li> <li>・実績が増えてきた最近では、協力してもらえることが多くなってきた。（東大阪市は自治会加入率が90%を超えており、市民・企業の自治会に対する意識が高い。）</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 事業実施上の課題      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・”みまもりロボくん”の設置にあたって行政の承諾（場所の提供等）がもらえないことが多く、新たな取組に対して協力してもらいにくい。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |

### 4. 連携・役割分担

|                                   |                                                                                                                                                                                                                      |
|-----------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 他のNPO等との連携など                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内にはNPOが約80あるが、そのうち約25団体で「NPOネットワーク東大阪」を組織し会議の場を設けている（実質的には約5つのNPOが動かしている）。</li> </ul>                                                                                       |
| 自治体との連携など                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「NPOネットワーク東大阪」が、市のNPOの窓口である“まちづくり支援課”と社会福祉協議会、ボランティア連絡会で運営協議会を組織し、ようやく市民活動支援センターをつくる働き掛けの一步として、「1day 市民活動ひろば」を市役所ロビーなどで月1回開催するようになった。</li> </ul>                             |
| 企業との連携                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・寄付（会費）は出してもらいにくいので、広告費としてもらっている。</li> <li>・信金やJAにも働きかけている。</li> </ul>                                                                                                        |
| 他のNPO、自治体、地域外の団体などとの連携を進めていく上での課題 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・他のNPOにはそれぞれやりたいことがあり、それで手一杯で、みんなで何かをするというのは難しい。</li> <li>・民間企業等からの活動助成金をもらうが、書類作成が大変な割には助成金が少ない。</li> <li>・市に対して活動拠点の設置を働きかけている。資金ではなく備品の使用許可や人の紹介などの面で協力をお願いしたい。</li> </ul> |

### 5. 中間支援組織について

|              |                                                                                                          |
|--------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 中間支援組織に求める機能 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動拠点を用意してほしい。（電話があるだけでもいい。お金を出してでも、備品が使える、情報が共有できる場。）</li> </ul> |
|--------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|

中海・宍道湖・大山圏域における観光にかかる各種協議会の整理

| 活動地域 | 団体名                              | 活動の概要・実績等                                                                                                                                                                                                                                         | 参加団体<br>ほか主な関連団体                                                                                                                                                             | 事務局・専属職員                                                                                | 活動頻度等<br>(H18・予定)    |
|------|----------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|
| 両県   | 中海・宍道湖・大山圏域観光連携事業推進協議会           | ・テーマごとの委員会を持ち、松江、米子、安来、境港の各商工会議所が各委員会の事務局となって事業を進めている。<br>【水面活用委員会：松江商工会議所】<br>・中海遊覧船事業<br>【情報発信委員会：米子商工会議所】<br>・山陰観光旅のポータルサイト、しおりキャンペーン<br>【余暇活用委員会：安来商工会議所】<br>・美術館と温泉を組み合わせた余暇活用モデルプランの検討<br>【産業観光ネットワーク委員会：境港商工会議所】<br>・地場産業を活かした体験型観光メニューの開発 | ■商工会議所（松江、米子、安来、境港、平田、出雲）<br>■行政（松江市、米子市、出雲市、境港市、安来市ほか圏域内の町）<br>■圏域内各市町村観光協会<br>■圏域内各町村商工会<br>■両県経済同友会<br>■出雲の国 社寺縁座の会<br>■神話の国 縁結び観光協会<br>■両県コンベンション関連団体<br>■NPO 大山中海観光推進機構 | 【事務局】松江商工会議所                                                                            | 4委員会各々で随時会議を開催、総会は1回 |
|      | 中海圏域4市連絡協議会（H19から「中海市長会」に名称変更予定） | ・中海圏域の総合的・一体的な発展に向けた共同事業の推進（中海沿岸一斉清掃、関西圏をターゲットにした4市協同アンテナショップ設置や市長座談会開催の検討の検討、チラシ等配布体制充実化の検討、市長座談会の開催）<br>・過去には中海圏域のパンフレット作成パンフ作成、JR伯備線の高速化検討など<br>・民間出身スタッフを登用し、持ち回り形式ではない「(仮)中海市長会」の設立に向けた動きがある。                                                | ■松江市、米子市、安来市、境港市                                                                                                                                                             | 【事務局】米子市企画課<br>※各市で持ち回り                                                                 | 協議会、幹事会、課長・担当者会で計5回  |
|      | 山陰国際観光協議会                        | ・米子ーソウル線の利用促進、外国人観光客誘致（外国人観光客の受入体制の整備、広報宣伝、国際チャーター便及び国際定期便の利用促進等）                                                                                                                                                                                 | ■島根県、鳥取県、両県観光連盟<br>■地元旅行業界関係団体等                                                                                                                                              | 【事務局】島根県観光振興課<br>※両県で持ち回り                                                               | 総会1回、事業ごとに会議         |
|      | 山陰観光連盟                           | ・JR米子支社及び鳥取、島根両県下の観光関係機関で組織し、事業を展開（全国への宣伝活動、受け入れ体制の整備促進）                                                                                                                                                                                          | ■JR西日本米子支社<br>■鳥取県、島根県、市町村<br>■旅行会社、バス会社、旅館組合、観光協会等                                                                                                                          | 【事務局】JR西日本米子支社営業課<br>・専属：1名                                                             | 総会1回、理事会1回、随時会議      |
| 鳥取県  | (社)鳥取県観光連盟                       | ・観光事業の発展と観光客の誘致を目指した事業（誘客キャンペーン、広報宣伝(観光PR資料・ガイドブック・イベントでの宣伝)、観光客受け入れ対策等）                                                                                                                                                                          | ■鳥取県、県下市町村<br>■観光協会、物産協会等<br>■事業者                                                                                                                                            | 【事務局】(社)鳥取県観光連盟<br>・専属5名（定員 現員4名）                                                       | 総会2回、理事会2回、随時会議      |
|      | 大山山麓観光推進協議会                      | ・「大山王国」ウェブサイトを通じた観光情報発信の支援<br>・See! (フリーペーパー) への記事掲載 等                                                                                                                                                                                            | ■米子市、境港市、南部町、伯耆町、日吉津村、大山町、江府町、琴浦町                                                                                                                                            | 【事務局】米子市観光課                                                                             | 総会1回、随時会議            |
| 島根県  | (社)島根県観光連盟                       | ・観光事業の発展と観光客の誘致を目指した事業（訪問宣伝、観光ボランティアガイド養成、しまね観光ナビの運営、地域観光振興支援、各種調査等）                                                                                                                                                                              | ■島根県、県下市町村<br>■観光協会、物産協会等<br>■事業者                                                                                                                                            | 【事務局】(社)島根県観光連盟<br>・専属2名、嘱託2名、その他県職員等が兼務                                                | 総会1回、理事会3回、随時会議      |
|      | 神話の国 縁結び観光協会                     | ・島根県主体の取組み（「縁結び」をコンセプトとした県外へのプロモーション、広域観光商品の開発、ホームページ運営等）                                                                                                                                                                                         | ■島根県、松江市、出雲市、安来市、斐川町、東出雲町<br>■商工会議所及び商工会（松江地区、出雲地区、安来、東出雲町、斐川町）<br>■観光連盟、観光協会、物産協会等<br>■事業者                                                                                  | 【事務局】松江市観光企画課<br>■各自治体の首長、商工会議所会頭が役員<br>・参加自治体からの出向（県1名、松江市3名、出雲市・安来市・斐川町各1名）による事務局専属職員 | 総会1回、随時会議            |
|      | 宍道湖沿岸自治体首長会議                     | ・宍道湖沿岸自治体の共通した行政課題に関する各種取組み（船上学習会、一斉清掃、宍道湖クルーズ、しじみウォッチング等）                                                                                                                                                                                        | ■松江市、出雲市、斐川町                                                                                                                                                                 | 【事務局】松江市政策企画課                                                                           | 総会1回、幹事会1回、随時会議      |

各団体の収支予算書（H18）・ヒアリングより、ランドブレインで作成